

育教の兒幼

號四第 號月四 卷十三第



內校學範師等高子女京東
會協園稚幼市日

廣島文理大學 教授 島田文雄 博士 久保良英 著

現代心理學叢書

第一編

形態心理學

菊池洋三 定價三圓廿錢
送料十錢
全編一冊

新刊

形態心理學の出現と共に心理學界は一大センセーションを捲き起して居る。彼等はヴントやゼームスの如き巨匠に依りて建設された心理學の大殿堂を根底から覆さんと試み、在來の心理學とは全く異つた見地から精神現象を見直さんと企て、一冊の然るに其學說は多く論文として雑誌に掲げらるゝ、況んや我邦に於ては未だ此種の著書は逸早く努力し、一日も早く其出版を期待され初めて居る。今回形態心理學の紹介は邦に於て初めて居る。本書が公にせられた。實に我邦に於て最初の形態心理學の出版として、苟も時代の尖端に立たんとする知識人の必讀の要書である。

第二編

精神分析學

近刊

第三編

人格心理學

近刊

第四編

行動心理學

近刊

第五編

精神科學派心理學

近刊

第六編

性格學と筆蹟學

近刊

好評

實驗心理學精義

廣島文理大學教授

文學博士 久保良英先生著

◆簡單行動篇
菊池紙數八百頁・挿圖貳百
定價金六圓 送料金廿七錢

◆複雜行動篇
菊池紙數八百頁・挿圖貳百
定價金六圓 送料金廿七錢

實驗心理學の檢討に餘念なき著者は簡便簡單なる行動篇を著し、その編纂方法は質的及量的の兩者交互に説叙し、終始一貫純正なる學者的立場より世界の心理學者が開拓せし所、又はせんとする所を周知懇切に詳述せるものなるを以て、書中より尤の充實せる事は言を俟たず。

發行所 東京市牛込區 中興書店 電話 三三三 八四二 七二五

文學博士 松村武雄著	文學博士 松村武雄著	文學博士 森鷗外 文學博士 松村武雄 赤い鳥主筆 鈴木三重吉 著	東京高等師範學校教授 馬淵冷佑	東京女子高等師範學校講師 藤五代策著
---------------	---------------	--	--------------------	-----------------------

文學博士
松村武雄著

文學博士
森鷗外

文學博士

松村武雄

赤い鳥主筆

鈴木三重吉

著

馬淵 冷佑
東京高等師範學校教授

東京女子高等師範學校講師
藤 五代策著

童話教育新論

童話及兒童の研究

日本童話

日本傳説

日本神話

學校
家庭
手技
及
手工
教材

全一冊菊判
バツクラム装
定價四圓五十錢
送料二十七錢

全一冊菊判
洋絹裝函入
定價四圓八拾錢
送料二十七錢

四六判上下二冊
定價各金六十錢
送料各六錢

四六判上下二冊
定價各金六十錢
送料各六錢

四六判上下二冊
定價各金六十錢
送料各六錢

全一冊菊制
解說圖一二〇入
定價一圓八十錢
送料八錢

斯道の世界的權威といはるゝ博
士が歐州の一年で我國の童話教
育の努力の結晶といはれてゐ
る。初めて確立したといはれてゐ

[illegible]

東錦町 市三丁 田區 培風館 振替電話 東京三田 七四七三 一六二七



育教の兒幼 輯編會協園稚幼本日

會長 吉岡 甫

東京女子高等師範學校長
東京女子高等師範學校教授
附屬幼稚園主事

堀 七 藏

日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルベシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルベシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
 - 一、幼兒教育ニ關スル研究及ビ調査
 - 一、幼兒教育ニ關スル講演會及ビ講習會ノ開催
- 一、雜誌發行(毎月一回)

- 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
- 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
- 一、其也本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名 會務ヲ總理ス
主幹 一名 會長ヲ輔佐シテ會務ヲ掌理ス
幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ズ
- 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
- 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
- 第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、トアルヘシ
- 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラザレハ變更スルコトヲ得ズ



第三十三卷 幼兒の教育 第四號

—(次 目)—

口 繪

皇后陛下 幼兒の外遊びを台覽あらせらる
皇后陛下 東京女子高等師範學校附屬幼稚園に御あらせら

皇后陛下 三月二十七日東京女子高等師範學校に

行啓遊ばさる

堀 七 藏 (二)

◇箱 の 家——幼兒の生活(二)

三十年記念號として

堀 七 藏 (二五)

昔がたり

◇粘 土 製 作——幼兒の生活(二)

堀 七 藏 (二六)

東京女子高等師範學校附屬幼稚園創立五十五週年

を迎へて及幼兒教育三十卷の發行を祝して

小 西 信 八 (二六)

懷 古

◇八 百 屋 遊 び——幼兒の生活(三)

堀 七 藏 (二七)

筆のついでに

會名變更と改題を中心にして

◇砂 箱——幼兒の生活(四)

堀 七 藏 (二八)

座 談 よ り

英國婦人日常の一端

日記の一節

春咲き球根類

雜 錄

關西聯合保育會代表制度改正建議の
ため上京・第四回乳幼兒愛護デ

堀 七 藏 (二九)

堀 七 藏 (三〇)

堀 七 藏 (三一)

堀 七 藏 (三二)

堀 七 藏 (三三)

堀 七 藏 (三四)

堀 七 藏 (三五)

堀 七 藏 (三六)

堀 七 藏 (三七)

堀 七 藏 (三八)

堀 七 藏 (三九)

堀 七 藏 (四〇)

堀 七 藏 (四一)

堀 七 藏 (四二)

堀 七 藏 (四三)

堀 七 藏 (四四)

堀 七 藏 (四五)

堀 七 藏 (四六)

堀 七 藏 (四七)

堀 七 藏 (四八)

堀 七 藏 (四九)

堀 七 藏 (五〇)

堀 七 藏 (五一)

堀 七 藏 (五二)

堀 七 藏 (五三)

堀 七 藏 (五四)

東京女子高等師範學校
教授附屬幼稚園主事

堀 七藏先生新著 美本函入

愈發賣

歐米の幼稚園及低學年教育の實際

四版六
一刷四
二刷三
三刷七
四刷八
五刷一
六刷一
七刷一
八刷一
九刷一
十刷一

幼稚園及低學年

教育の新思潮と

實地の基礎本!!

新しいプランは

此の前衛書から

湧く!!

著者堀先生が親しく歐米諸國の幼稚園及各種小學校を實地研究せられた結晶でありまして其の内容は

1、歐米諸國の幼稚園教育が如何に行はれて居るか。

2、幼稚園と低學年とは如何なる關係にあるか。

3、小學年低學年教育は如何に行はれて居るか。

此の三方面を著者一流の明確なるメスを以て説述したもので絶対に類書なき好著であります。殊に六十有餘の寫眞がアート別刷にて挿入されてありますから、居ながらにしてその地を周遊するが如く徹頭徹尾興味を以て讀む事が出来ます。

幼稚園及低學年教育關係者並に愛兒を持つ兩親の必讀を乞ふ。

東京女子高等
師範學校講師

文學士 金子彦二郎著 安心して與へられる趣味の童話集

好評

新作
童話

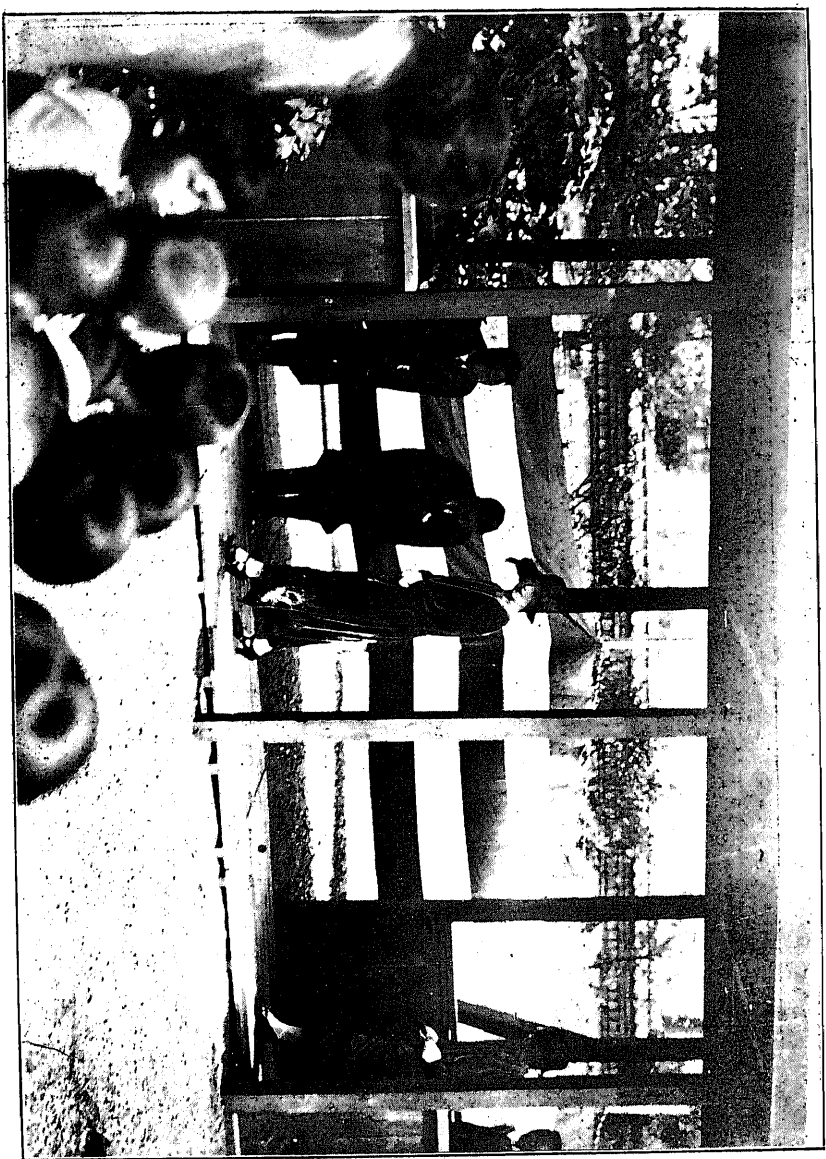
打たづに鳴る太鼓

四六版三六〇頁
定價一圓三〇錢
送料一二錢

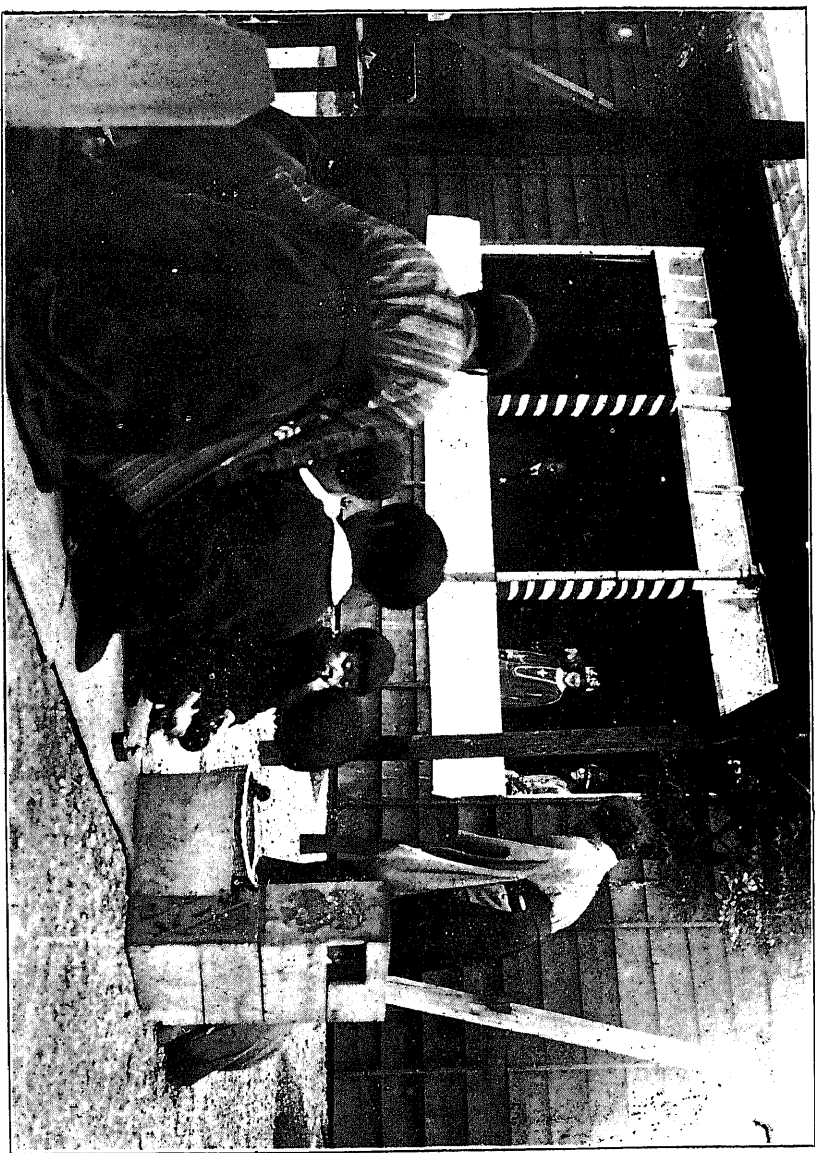
振替四七五番
口替四七五番
東京座五番

昭々閣書房

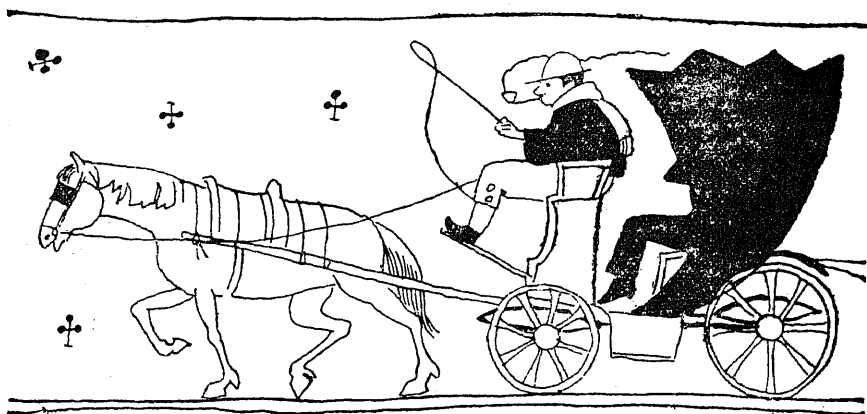
東京市外杉並町
高圓寺八五九



皇后陛下 東京女子高等師範學校附屬幼稚園に御着あらせらる。



皇后陛下 幼児の外遊びを台覧あらせらる。



第 三 十 卷 幼 兒 教 育 第 四 號

昭 和 五 年 四 月

一、教育で家庭教育位重要なものはありません。家庭教育の良否は實に人一生を支配し國家の發展を左右するのであります。最近の學術は益々家庭教育の重大なる使命を立證し近時の社會現象は善良なる家庭教育の必要を痛感せしめてゐます。

一、家庭教育の短を補ひ幼兒の心身を充分に發達せしめ將來受くべき學校教育の基礎を築くものは幼稚園保育であります。幼稚園保育の重視すべきことは天下一人も異議がないのであります。

一、幼兒の教育は本邦唯一の幼稚園保育に關する發表機關であります。而してまた本邦唯一の家庭教育雜誌であります。

一、幼兒の教育は幼兒の教育、即ち家庭に於ける教育と幼稚園に於ける教育、更に小學校初學年教育に關する事項は細大となく網羅し、以て家庭教育の向上を計り、幼稚園保育の進歩發展を期する大抱負をもつて産れたもので有ります。

皇后陛下 三月廿七日東京女子高等

師範學校に行啓遊ばさる

堀 七 藏

一、行啓を仰ぎて

皇后陛下には、三月二十七日東京女子高等師範學校に行啓あらせられました。三月十八日に行啓遊ばされる御豫定が二十二日に御延期となり、更に二十七日に御延期になつたのであります。漏れ承る所によると、

皇后陛下には三月七日より御風邪の氣味にわたらせられましたので、三月二十四日より二十六日まで帝都復興記念祭の行はれました翌二十七日に特に行啓遊ばされたのであります。

三月二十七日午前十時、東京女子高等師範學校正玄關前に整列せる來賓職員生徒兒童幼兒三千人、溢れて正門外も茶の水の道路にまで整列して御迎へ申上げてゐる間を君が代の奏樂と共に

陛下の自動車は轍の音もゆるやかに正門にお入りになりました。この時車上の

陛下には正門入口の右側に静肅に並び居る幼稚園幼児のあどけなさをいと、にこやかにみそなはせられたるやうに拜せられました。御車はやがて玄關につき陛下はかねて設けの御座所に入御遊ばされました。着御間もなく學校長、文部大臣、次官、局長、その他勅任官及び同待遇以上の教授に單獨拜謁を賜はり、直に玉歩を長き廊下に運ばせられて講堂に臨御あらせられ、午前十時二十分より開始せられた講堂演習を御熱心に御聽遊ばされたのであります。

講堂演習は先づ一同の校歌「みがかずば」に始まり、小學校兒童の演習より女學校生徒、更に本校生徒の演習まで正一時間と二十分。その演習は次の如くでありました。

二、講堂演習

校歌（昭憲皇太后御下賜御歌）奉唱

御歌

みかゝすは玉もかゝみもなにかせん

學ひの道もかくこそ有けれ

一

同

附屬小學校

讀方

第一學部尋常科 佐久間菊榮

朗讀「ミヨチャン」

唱歌

第二學部尋常科 十五名

乙姫さん

歌詞

龍宮のく乙姫さんはトントンカラリン

トンカラリンくくと機をありました

黄金のたすきを脊中に結んでトントンカラリン

トンカラリンくくと機をありました

浦島太郎もトントンカラリン黄金のたすきで

トンカラリンくくと機をありました

千年おつてもトントンカラリン萬年おつても

トンカラリンくくと機をありました

綴方

第三學部 尋常科 佐藤 伸彦

朗讀「お婆さまと小鳥（自作文）」

地理

第一學部 尋常科 丸瀬 文子

郷土誌「山の手、下町」

唱歌

第一學部 尋常科 二十名

氷滑

歌詞

一 嬉し膚寒き北の風の

夜すがら吹きて今朝は川の面

見よや 氷とぢぬ

二 嬉し空は晴れて朝日高く

川の鏡の面はかじやき

まつかあそぶ子等を

三 嬉し冬を愛づるわかき友よ

今日はひねもす川のほとりに

汝とあそび暮さん

四 嬉し心かろく足もかろく

走る我等は空を飛び交ふ

とりの羽や得たる

五 嬉し骨は鳴りて肉は躍り

わかき力の湧くを覺えて

樂しこほりすべり

讀 方

第二部高等科
馬場 靜子

朗 讀 「田園の自然」

附屬高等女學校

家 事

實科第二學年生徒
雨宮 元子

果 物

國 語

本科第二學年生徒
村上 慶子

朗讀「桃」

音 樂

本科第四學年菊組生徒 約 五 十 名

賀 頌

歌 詞

一 慶ありて 東の空

見よ この日の かじやく

いみじき光を

二 雄雄しくいます 日嗣の皇子

げに人皆 とこしへ

たのまん御柱

三 ならびて在す 天つ少女

そのみなさけ 優しく

みけしき氣高し

四 萬づ世春に 咲きつぐ花

わぐらの花　　ふれふれ

挿して祝はん

修身

本科第五學年生徒　長野芳子

國際聯盟

英語

專攻科英語部
第二學年生徒部　佐村百合子

暗誦「ヴェニスの人」

第四幕第一場　裁判の場面的一部分

第六臨時教員養成所

歷史

歷史地理科
第三學年生徒部　山口ゑみ

明治維新の大精神

本校

國語

文科第三學年生徒　渡部正子

曲亭馬琴と支那小説

家事

家事科第四學年生徒　島根阿佐

婦人と消費の進歩

數學

理科第四學年生徒 牧野久仁

非ユークリット幾何學の起源

教育

文科第四學年生徒 保田美代子

教育上より見たる兒童

以上

三、光榮の數々

東京女子高等師範學校は 昭憲皇太后の行啓を十一回 皇太后陛下の行啓を三回仰ぎ、今また
皇后陛下の初の行啓の光榮に浴したのであります。五十年前明治八年十一月二十九日、東京女子師
範學校開校の日

皇后陛下(昭憲皇太后)行啓遊ばされ、令旨を賜はりました。

女子教育ノ根柢ヲ培益センタメ去年此校ヲ設置有ラントスルヲ聞キ嘉尙ニ堪ヘス 今經營既ニ成
リ爰ニ開業ノ典ヲ舉グ 庶幾クハ自今此校ノ旺盛ニ赴キ遂ニ女教ノ美果ヲシテ全國ニ蕃結スルヲ

觀ンコトラ

更に明治九年六月附屬幼稚園が設立せられ、本邦幼稚園の嚆矢となつたのでありますが、その翌十年十一月二十六日

皇太后陛下（英照皇太后） 皇后陛下（昭憲皇太后）附屬幼稚園に行啓遊ばされました。その當時の記録には次のやうにあります。

文部大輔本校主任以下校前に奉迎、御便殿に御着、文部大輔以下拜謁、次に本校主任御先導にて開誘室順次御通覽の後遊戯室に進御、文部大輔、幼稚園の主旨を陳述し、幼稚園規則、寫眞、園児の製作物を上る、此時御令旨あり。本校主任答辭を上る。午後遊戯室に進御、御玉顔殊に麗はしく、幼兒の嬉戯する狀を見そなはし給ふ。此日校長以下校員に物を賜ひ、幼兒には菓子折一個宛下し賜はる。

皇太皇后陛下より賜りたる令旨

曩に此園の設けあるを聞き今其さまを觀るに幼稚の訓育稍々宜に適ひたることを知り尙倍訓育の方を竭し幼稚をして身を保ち智を増さしめんことを望む

皇后陛下より賜りたる令旨

人の身を保ち智を増さんは稚き時の育方にあれば此園の業もいと難あるへきを今稚き者共の狀を觀るに其身の健にして其智の開け行かん効までまのあたりに知られたるは誠に喜はしき事なり 尙務めて此園の育方を普く敷きなほ人々をして皆洪福あらしめんこと誰か疑ふへき。

大正十四年十一月二十九日

皇后陛下東京女子高等師範學校開校五十年記念式に臨御あらせられし時賜りたる令旨

玆に親しく開校五十年記念式を擧ぐるの盛事を見る欣悅何ぞ勝へむ

昭憲皇太后曩に開業の式に臨ませられ深く當時の計劃を佳尙し女子教育を發展せしむへきことを親諭せらる 惟ふに今日の興隆由て來る所已に尙し 従事の人常に志を此に置き又能く時世の進運に鑑みて懈ることなく業を修むる者亦意を潜めて訓育の國家人心と須くも離るへからざる所以を究めは庶幾は

遺範に副ふことあらむ 各自其れ之れを勉めよ

四、有難き御言葉

昭和五年三月二十七日 皇后陛下には午后二時四十分還啓の前、特に吉岡校長を御召しになり有難

き御言葉を賜はりました。

本日此校ニ臨ミ詳ニ課業ノ實際ヲ見學校長ヲ始メ職員等ガ熱心ニ教導ニ當リ生徒等モ亦眞率ニ勉勵シツツアルハ満足ニ堪ヘズ 此校ハ創設以來既ニ五十餘年ヲ經成績愈々揚ガリ國家社會ニ貢獻セシ所洵ニ多シ此レ實ニ 昭憲皇太后竝皇太后陛下ノ御懿旨ニ副フ所以タルヲ信ズ

今ヤ女子教育ハ益々振興ノ必要ヲ感ゼシムルモノアリ 諸子宜シク此校ノ本旨タル師範教育ガ眞ニ女子教育ノ源泉ヲ爲スヲ思ヒ一層努力ヲ加ヘ以テ時世ノ進運ニ伴ハンコトヲ期スベシ

五、幼稚園御巡覽

皇后陛下には三月二十七日東京女子高等師範學校に行啓あらせられ、先づ講堂演習を台覽あらせられて後、午前十一時三十分附屬幼稚園を御巡覽あらせられたのであります。講堂より長いバラック平家建の廊下を幼稚園まで玉歩をお運び遊ばされたのであります。そして幼稚園入口で外遊びの幼児六十人が御迎申上げると 陛下はわざわざ御立どまりになつて幼児達の敬禮に對し御會釋を賜つたのであります。丁度朝からの曇が晴れて麗な春の日が幼児達を包み嬉々として 陛下を御迎申上げてゐる有様をみそなはしながら幼稚園に御入り遊ばされたのであります。

第一の室では幼児達が箱の家をつくつて居ります。お菓子箱や石鹼箱などいろいろの空箱を利用して、窓をあけ、セルロイドの硝子窓をつけ、椅子や卓子を厚紙でこしらへて備付ける幼児もあれば、またいろいろの玩具、小さな玩具の豆自動車、小さな國旗、紙人形などを畫用紙で製作して箱の玩具店に飾付けてゐるものもあります。この幼児達は滿六歳で、この四月より小學校に入學するものであります。只今空箱を利用していろいろの家をこしらへてゐるのであります」と、説明申上げますと、陛下は畏れ多い程幼児達の傍に近くお進み遊ばされて、一々幼児のこしらへてゐる箱の家を御のぞきあらせられます。そして

「これは幼児が工夫するのですか、それとも教へますか」

と御下問になつたのであります。畏れ多い位　陛下には幼児の教育に御心を注がせられますやうに拜察いたしますので、教へることもありますが、また幼児に工夫させることも多い旨を御答へ申上げますと

陛下には「中々お上手ですね」と仰せられ、或る幼児の箱の家を御自ら御手に持上げられて、家の中の様子、粗末な紙の椅子や卓子などが置いてあるのを御覽遊ばされて御微笑を御漏し遊ばされたのであります。

いろ／＼の箱で出来た家が並べられて町並となつてゐるものにつき、「これが箱の家でこしらへた町並でございます」と申し上げますと 陛下には「成程電車がありますね、自動車もありますね」と竹屋女

官長と御笑になり暫し玉歩をとどめさせられて箱の家で出来た町を御覧あらせられたのであります。

やがて 陛下は第二の室に御入りになります。「こゝに居ります幼児達も満六歳であります。眞中の机では粘土製作をいたして居りますし、黒板では自由に繪をかいて居ります」と申し上げますと、

陛下は先づ玉歩を黒板の方に運ばせられ、一生懸命汽車を描ける幼児の後方より御覧になります。

幼児はそれとも知らず、機關車の煙突を描いてその後方にある水蒸氣のたまるタンクを黄色のチョークで塗つて居ります。實は私などが見ても何になるのかよく分らぬ位でありますのと

陛下が特に御注視遊ばされてゐる御様子に拜せられましたから、私は幼児に對して「何を描いてゐますか」と尋ねて見ました。すると幼児は「機關車」と答へつゝ尚ほ一生懸命塗つて居ります。

陛下には幼児の「機關車」といひつつ、描きつけてゐるのを御覧遊ばされ

「そうですね 機關車ですか」と御笑ひ遊ばされたのであります。この機關車を描いてゐる男兒に隣つて二人の女兒が西洋館を描いて居ります。西洋館は芝生の上に簡單に出来上がり窓が一つついて、入口ともいふべき所も黄色に塗られてあります。幼児はその入口の眞中に入念に點を打つて居ります。

その點の描き方に　陛下は御目をとめられましたから、私は幼兒に向つて「それは何ですか、ドアですか」と念を押しますと、幼兒は「そう」と答へつゝ尙點を仕上げてゐます。ドアのハンドルでありませう。細かな點を見ぬかさず描く女兒の觀察を　陛下はめでさせられましたものか、尙ほも御覽になつてゐますが豫定の時間もありますこと、つい失禮にも粘土製作の方へ御案内申上げたのであります。

幼兒が小さな手で粘土をとつて丸めて林檎となし、バナナをつくり、自動車とし、また馬の足となし象となしてゐる幼兒の製作をいと御興味ふかく御覽遊ばされ、御手に粘土を御取上げになりましたことは誠に有難き極であります。その中一幼兒が太い棒を粘土でつくり、その上に稍々細い粘土の棒を枝となるやうに二つくつゝけ、更に一つ團子にした粘土をくつゝけたのであります。土臺にしてゐる粘土が倒れ想になつて困つてゐます。この時　陛下はこの幼兒が苦心して粘土が倒れるのを起してゐるのを御覽遊ばされますやうに拜せられましたから私は幼兒に「それは何になるの」と尋ましたすると幼兒は「花咲翁」といつて土臺の粘土を起して居ります。幼兒の花咲翁の聲に

陛下は「アさう花咲翁になるの」と朗らかな御聲で御笑遊ばされ、室内は一齊に輝き渡る有様であります。成程この幼兒は花咲翁を造る豫定らしいのであります。土臺の太い粘土の棒が枯木となるのでありませう。その枯木の枝が二本に分れ一方の枝に新につけた團子のやうなものが花咲翁になるので

ありませう。宮内官の方々も女官の方も皆花咲翁といふ答には御笑にならぬ方がない位であります。しかし幼児は一生懸命であります。この幼児が無邪氣に眞面目に熱心に製作してゐる様に

陛下の玉歩を止めさせられて暫し御覽遊ばされました光榮さ。

陛下は更に右側の黒板畫を御覽遊ばされたのであります。こゝでは二人の男兒が廣い二枚續きに合作をしてゐます。一人は一生懸命にタンクを描いてゐますし、他の一人は三機の飛行機を描き終つてその下の方一面に緑のチョークで縦にぬつて居ります。私は陛下が御覽遊ばされるやうに拜しましたからまた幼児に「それは何か」と尋ねて見ますと「野原」といつて尙ほ描き續けてゐます。その上の所に赤く塗つたものがありますから、また「これは何ですか」と幼児に尋ねますと幼児は「飛行機が爆發したの」といつてすましてゐます。陛下はこれを御覽あらせられ、

「飛行機が爆發したのですか、そこにタンクがありますね」と、御微笑を御漏になつたのであります。かくて第二室の御巡覽を終らせられ、出口に玉歩を御運びになりましたから、「この室は保育室でありまして、向ふの戸棚がめい／＼箆筒と名づけ、幼児一人／＼が使用する物を始末する箆筒であります、またこの戸棚は幼児のお辨當を入れて置くものでございます。お辨當はこのやうな小さなバスケットに入れますして幼児各自が毎日持つて來るのであります」と説明申上げますと陛下には特に幼児のお辨

當入の小さなバスケットを御覽遊ばされまして御微笑を御漏しになつたやうに拜察いたしました。

第三の室では幼児が八百屋遊びの仕度をいたして居ります。黒板には幼児の繪で、土堤の櫻が満開の春の陽氣が漲つてゐます。その前で幼児の一團が畫用紙で果物をつくつて居りますので 陛下はその机に御立寄になり親しく幼児の製作を御覽になります。厚紙に林檎を描いて切つてゐるものがありバナナを描いてゐるものがあります。このバナナを 陛下は御覽遊ばされ、竹屋女官長に「いろいろのものが出来るんですね」と仰せられました。「こゝで出来ましたものを向ふのヤオヤ店に陳列して商ひごつこが始められるのであります。その机のところでは幼児がかごをこしらへて居ります。またその隣の机ではお金をこしらへて居ります。そのお金で果物などが買求められるのであります」と説明申上げますと 陛下は御微笑遊ばされ、かごをこしらへてゐる幼児の缺の運を特に御覽遊ばされます。幼児が小さな手で缺を持ち大きな厚い茶色のボール紙を切ぬく有様をいと御興味ふかく思召されるやうに拜察いたされました。そのかごをこしらへてゐる幼児と向合つた幼児達が粘土をまるめて蜜柑をこしらへ、いちごをこしらへてゐますと 陛下はわざわざそこに御立寄遊ばされ、幼児のこしらへた粘土を御手に御取上げ遊ばされて御覽になつたのであります。丸くなつた粘土にぽつ／＼小孔をあけていちごをこしらへてゐるのを御興味ふかく御思召されてかと拜せられます。

次にお札や銅貨、銀貨を厚紙でこしらへてゐる所に、玉歩を御運び遊ばされ、そのお金を御手に取り遊ばされ、

「これが十センですか」と御笑ひ遊ばされたのであります。「幼児達がこのお金でヤオヤに出かけまして、自分／＼の好きな物を買ひ求めます。ヤオヤはヤホヤと書くべきであります、幼児達はヤオヤと發音通りに書くのであります。この店は町通りの一軒でヤオヤ店であります。」と、説明申上げますと陛下は御笑遊ばされ、黒板に描いてある幼児の繪（それは町通りになつて居ります）を御覽遊ばされ、更にヤオヤ店をいと御熱心に御覽あらせられるやうに拜せられたのであります。ヤオヤ店では蜜柑を並べ、更にさんかんを小さな網の袋に一つ／＼幼児が入れてゐるのをことの外よく御覽あらせられたのは畏れ多いことであります。陛下にはさんかんを網の袋に入れて賣ることが御不思議に御思召されたものでありませうか。「これはさんかんでございます。幼児が粘土でこしらへましたものに黄褐色のエナメルを塗りましたものであります。この紙皿にのつて居りますのはきり午莠でございます。茶色のボール紙を細長く切り、きり午莠になぞらへたのでございます。きり午莠はヤオヤでよく賣つて居りますので幼児が眞似をしたものであります」と、説明申上げますと陛下には御興味を以て御覽あらせられたやうに拜察せられたのであります。

第四の室は遊戯室であります。三十人の幼児が圓い輪をつくり、三十人は二列に整列して 陛下を御迎へ申上げピアノの合圖で兩方共にあどけない風で最敬禮をいたしますと、陛下にはことの外御微笑遊ばされたやうに拜せられます。幼児の一隊は直に小さい顔と顔を向ひあはせてチツパツバと「雀の學校」を歌ひつゝ遊戯をなし、他の一組は聲をそろひて歌つて居ります。この組は昨年幼稚園に入園いたしました満五歳の幼児であります」と説明申上げますと

陛下にはわざわざ幼児に近く玉歩を御運び遊ばされます。雀の學校から「ゆりかご」に變り、更に「風上げ」の律動遊戯と變化をいたします。「これが律動遊戯と申しまして、リズムを主とした遊戯であります。今いたして居りますのは風上げの律動遊戯であります」と申上げますと 陛下は幼児達の一舉手一投足にも御興味ふかく御覽遊ばされます。畏れ多いことでありますが照宮様と一年位年長な男女幼児が「お月さんと遊ぼう」と、お月様を手招きするのでありますから 陛下にはいつ迄も御覽になります。下手な遊戯でありますが無邪氣そのものの幼児、手のよく上がらないのが、却つて御愛嬌にも思召されるか 陛下には絶えず御微笑遊ばされます有難さ。

最後に幼児の製作品陳列室に御入りになりました。先づ御覽になりましたのが幼児の生活を示す寫眞、梓のぼり、相撲、大積木遊びなどを御覽になり、次いで自由畫、はり糸を御覽あらせられました。

陸軍大將がいかめしい顔した繪や猿と蟹のはりゑなどが中々うまいと御褒め遊ばされました。是等の成績品の前に卓子掛。これは女兒のぬひとりの合作でありますことを申し上げますと 陛下はわざわざそれを御手に持上げさせられ「これはお上手ですね」と御褒め遊ばされ、その上にちらしてあります幼兒のかかるた、「このカルタはこの幼稚園の幼兒がつくつた言葉で幼兒の描いた繪でこしらへたものであります」と申し上げますとこれも 陛下は御手にせられ一枚／＼順々に御覽遊ばされ竹屋女官長と御笑になりました。殊に「へびはながい」といふ札の繪を御覧になつて御笑遊ばされました。生憎妙な札が出たことを誠に恐縮に存ずる次第であります。直に外遊びの幼兒を御覧あらせられました。實は三つの窓の硝子戸を取のぞいてありますので、春の麗かな日光を浴びて無邪氣に自由に一心に砂遊をしてゐる幼兒達の有様に 陛下はいと興ふかきものと思召されましたものでありませう。實は眞中の窓にて外遊びを御覧あらせられる豫定でありましたのを 陛下は第一の窓から暫く御覧、更に玉歩を運ばれて眞中の窓から御覧遊ばされた位であります。幼兒達はかくも 陛下がうしろから御覧遊ばされてゐますのにも氣がつかず、男兒は一心にトンネルをつくりお山をこしらへ、砂場で汽車遊びをいたして居ります。女兒はビールの空箱でこしらへた粗末なお臺所道具などを使つておまゝごと遊びをします。私は「あのビールの空箱の臺所道具は幼兒達のこしらへたものであります。粗末なものであり

ますが女兒達には大切なおもいごと道具であります。それから毎日お天氣がよろしければ成るべく幼兒の外遊びをいたさせます。外遊びでは砂場が最も幼兒の喜びますところであります。手がよくれますから砂場の遊びがすみますと嚴重によく手を洗はせることにいたして居ります」と申上げますと

陛下には「それは結構」といふ意味の仰せがありました。

更に 陛下は玉歩を運ばれまして砂箱のところを御覧になります。「砂箱は特に雨の日など外遊びの出来ないときに使用いたさせます。この砂箱に出来て居りますのが聖橋で黒板にかいてありますのがニコライ堂であります」と申上げますと 陛下は

「これが聖橋ですか」とおぼせられましてわき／＼お茶の水の濠を御覧遊ばされ、聖橋にある自動車がおかしいと竹屋女官長とお話になり、「これが電燈ですか」ときびがらで出来てゐるものを御指示遊ばされたのであります。幼兒の觀察は中々細かな點にまで及び土堤には柵があり芝生が出来て居ります聖橋の上には人も立ち自動車も走るといった砂と粘土との合同製作であります。聖橋と隣つて人形芝居の舞臺がありその横にいろ／＼不細工な人形が陳列してあります。この小さな舞臺の中に保姆が入りこの人形に手を入れまして人形を働かせまして花咲爺でありますとか、猿蟹合戦でありますとか、いろ／＼のお噺はなしを幼兒に見せるのであります。只のお話では下手でありますから興も乗りませ

んが人形を使つて見せますと幼児達は大變喜ぶのであります」と申上げますと

陛下にはわざわざ人形を御手に御持上げ遊ばされました。それは卵の殻で人形の顔が出来、毛糸で編んだお帽子をかぶつた人形であります。これは卵の殻で顔が出来て居ります」と申上げますと「可愛い人形ですね」と仰せられ、更に四角な顔できびがらの鼻をつんとつき出した人形を御覧になり、竹屋女官長に「滑稽な顔」とおさゝやき遊ばされたのであります。

出口に近き卓子にはぬりゑ、粘土、箱の家などの製作品が陳列してあります。「ぬりゑ」は輪廓をこのやうにかいてあります中を幼児達がぬるものであります」と申上げますと陛下は一枚／＼おめくり遊ばされて御覧遊ばされました。「これがわにだ想であります」と粘土製作について申上げますと「さうですか。こちらが象ですね。中々お上手です」と御褒め遊ばされたのであります。

かくて幼稚園の御巡覧が終了しましたから、吉岡校長は御先導申上げて幼稚園の廊下を御還々遊ばされるのであります。しかし第四の遊戯室には幼児が尙ほも遊戯をいたしてゐますので玉歩をとどめさせられ、第二の室の前では室内を御覧あらせられ

「汽車が出来上つてゐますね、大變上手ですね」と御褒めあらせられ、第一の室も御覧あらせられ、黒板に幼児が描いた武者繪を特に御目にとめられましたやうに拜せられました。

陛下が幼稚園を御巡覽遊ばされる豫定時間は十五分間でありましたが、特に有難き思召で二十五分間にも及んだのであります。陛下が御座所に御着になりました頃、文部次官、局長等來賓一同が幼稚園幼兒の手技や遊戲などを參觀せられて「成程幼稚園が永く御覽遊ばされたのも無理がない」と感嘆せられた位であります。しかし

陛下には幼兒教育に深く御心をとめさせられることは幼稚園御巡覽を通じて拜察せられますことと單に附屬幼稚園だけの光榮ではありません。實に全國幼稚園並に托兒所の光榮であります。

陛下には照宮成子内親王 孝宮和子内親王御二方の御母性として日夜御養育遊ばされますとは申せ、かくまで幼兒教育をふかく研究遊ばされ御興味ふかく御覽遊ばされることは實に有難き極であります。

六、有難き賜物

皇后陛下には御座所にて御晝食御休憩遊ばされて後午後一時より本校の物理、化學、動物、植物の實驗更に裁縫、割烹の實習を五十分間御覽遊ばされ、更に運動場に於て本校附屬女學校生徒、附屬小學校兒童の體操遊戲を約三十分御覽遊ばされて後成績品陳列室をも御覽あらせられました。そして吉

岡校長を御召になつて有難き御言葉を賜はり、午後二時四十五分來賓並に職員生徒兒童一同奉送裡に御機嫌麗はしく還啓遊ばされたのであります。

この日特に校長以下全部の職員生徒兒童幼兒悉くへそれ〴〵お菓子を賜つたのであります。殊に幼兒が降園しない中に分配せよと有難き御注意まであつたのであります。誠に有難き

陛下の御思召は頑是なき幼兒も深く感銘し幼兒の家庭の喜悅實に喩ふるものなき有様であります。

尚ほ當日附屬幼稚園より奉献いたしましたものは幼兒の生活の寫眞アルバム、箱の家玩具店、幼兒の作つたカルタ、ぬりゑ帖、それに自由畫、はりゑなどの幼兒の成績品であります。

茲に謹んで御巡覽あらせられました御有様を成るべく詳細に申上げて全國幼稚園關係の方々に

この記念すべき行啓の光榮・全國幼稚園の光榮として記念していただきたいと思ひます。



箱の家

— 幼児の生活 (二) —

材料はお菓子の空箱、石鹼の上箱、其の他不用品。なるべく大きいのを利用して、加工式に、いろいろの家の形に仕上げてゆきます。昔からの繊細な折り紙細工ではなくて、おほまかな家の觀念の表現を主と致します。随つて、たゞ家といふものゝ形ではなくして一つゝが停車場であり、郵便局であり、ビルデングであります。そこで、その出来上つたものを列べますと、一つの町になります。—— 平常の觀察と結びつけて、おのづから多分の社會興味を含ませることの出来る、新らしい製作遊戲であります。

(倉橋惣三)

三十年記念號として

堀 七 藏

今より三十年の昔わが幼児の教育の前身「婦人と子ども」が生まれたものであります。當時フレーベル會が組織せられ、その機關雜誌として「婦人と子ども」が發行せられたものであります。三十年前に於ては我が國幼稚園事業も未だ微々たるものでありましたが、特にフレーベルの名をとつて會の名稱となしたには、當時の會員各位の幼稚園事業に對する意氣の如何に壯なるものがあつたか想像が出來ませう。また「婦人と子ども」といふ所謂婦人雜誌でもなく、また純然たる子ども雜誌でもない、眞に婦人と子どもとの關係、幼兒の教育を専門とする機關雜誌を發行せられた精神も亦偉とせねばなりません。當時には婦人雜誌といつても殆どなく、また子どもの雜誌や繪本の如きも實に寥々たるもので、皆無といつても差支ない位な時代に生れた「婦人の子ども」のことでありますから如何にその發育の遅々たるものであつたことでありませう。それにもかゝらず關係者各位が絶大の努力を續けられて今日の盛況を見るに至つたことは吾等後繼者として異常の讃辭を呈せざるを得ないのであります。婦人専門の雜誌が益多くなり子供雜誌が山をなす間に立つてよく當初の信念を保持し専心我が國幼兒教育のため貢獻せ

る過去三十年間の業績に對し實に感謝せざるを得ないのであります。而して「婦人と子どもは中途にして改題せられて幼児の教育となつて今日に及んでゐるが、實に我が國唯一の幼稚園教育の研究機關であり、今後亦大に劣力せねばならず、また應分の努力をいたすことと考へますが、讀者諸君に於ても十分わが「幼児の教育」を熱愛せられ本誌が益健全に活動し、我が國幼兒教育の進展に貢獻するやう御教導あらんことを希望いたします。茲に三十年記念號を發刊するに當り一言する次第であります。

「幼兒の生活」に就て

として、此の寫眞と解説とは東京女子高等師範學校附屬幼稚園の行啓紀念寫眞帖の中のものであります。引つゞき數號に亘り連載しますが、本號の分は先般

皇后陛下 行啓の節台覽を仰いだ實際と同一のもの（場面は此の通りではありません）であります。

昔がたり

小西 信 八

小西先生は、創業時代の東京女子高等師範學校附屬幼稚園第三代の監事として、我國幼稚園教育の基礎をかためられた方。當時の様子、先生の御事業のあとを伺ひに市外高田町のお居住をお訪ねしました。『ずっと遠い昔の事ですつかり忘れてしまひましたが、お尋ね下されば思ひ出しばなしをしませう』と、以下の貴重なお話をいただきました。

× × ×

私があの幼稚園に居りましたのは明治十三年九月から十九年に盲啞學校に變る時まででしたよ。中博士が千葉師範にゐられた時、その下に呼んでもらつて、その後中さんは東京に變られたので、又お願ひしとつたら、幼稚園の方に監事の缺員があるからといふので呼んで貰つたですよ。關信三

さんが亡くなられた後でしたかな。あの頃が一等面白うござんした。子供と一緒によく遊びましてな。本校の生徒に保育法と植物を教へるだけで、受持時間が少うござんした。

この頃はまだ幼稚園の研究書がすくなくて、

「幼稚園記」 米人ダウエイ氏原著 關信三氏譯

「幼稚園」 文部省發行 神田孝平氏譯

この二冊の外に見るべきものはありません。後になつて、神戸に來てゐる婦人の書いた物、市橋虎之助氏のものが出ましたが。幼稚園記は譯し方はよいが分りにくい本でした。良くも悪くも幼稚園に關係ある本を集めることにして骨折りましたが

焼けてしまいましたね。そんな時だから私の講義には、何よりフレイベルの傳記がいゝと思つてそれをやりました。又、原書の口誦をしました。原書といつても前の二冊くらゐのもの。その後アメリカに留學した加藤錦さんが、アメリカの幼稚園を紹介したものの三冊を送ってくれました。

その時の保姆だつた加藤錦さんは、幼稚園研究のためにアメリカに留學されたが歸つて來られて高等師範部の英語の先生になつた。折角研究して貰つたのに残念な事でした。大正八年になくなられましたよ。

幼稚園の出來た當初の事を知つてゐられるのは豊田美雄さんひとりでせうな。その頃の幼稚園はぜいたくなものでしたよ。フレイベルのこしらへた幼稚園は貧乏の子だけを集めたのに、貧乏な親達が仕事に出かけるので子供をよく育てゝやらうといふのだつたのに、こちらでは金持ちの子が來

るようになった。金持ときめたわけではないが、小さい子の、送り迎へは貧乏人では出來ないから、自然とさうなつたのでせうな。

私のした仕事ですか。私くらゐ仕事をしなかつた監事はありませんよ。

私の來る前、十三年七月に保姆練習科が卒業すると、女子師範學校の生徒に實習させるために保姆科は廢止になつて、その女子師範の生徒が訓導となり保姆となりましたが、訓導は本官になるが、保姆は本官になれぬので卒業生が保姆になるのをいやがります。一つの學校で教育された者に差別があるのはいけないと思つたので、官制を改めるよう文部省にお願ひしました。普通學務局は通過しましたが、専門學務局では保姆を本官にする必要はないといふのです。幼稚園はドイツ本國でさへ疑問とされてゐるぢやないか、フレイベルは社會主義者ぢやないか、といひますから私が抗議し

ました。フレibelは幼時から子供に社會主義を

宣傳してゐると、ドイツ政府は考へて幼稚園を禁止したが、間もなく政府は幼稚園はそんなものでないことを良解したけれども、政府の威信のために、過つた所を表すのをさけてゐるのだと書いて文部省に出しました。それで官制が改つて保母も訓導と同じ待遇になりました。

もとの唱歌は、古今や萬葉のような古い、意味の分らぬうたに、宮内省の雅樂部の伶人が節をつけて、妙なものをうたはせてた。それで、小學校にメイソンが來て、歌を教へるようになったので、うらやましくてたまらんから、學校へ頼んで幼稚園にも來て貰ふことにしました。メイソンは伊澤修二さんがアメリカで音樂研究の折、習つた人で、音樂學校が出来る時、日本に唱歌を擴めるためにと呼んだ方です。そこで、もとからやつてゐた歌では一向分らぬから加藤錦さんに西洋歌を

翻譯して貰ひました。

「蝶々／＼菜の葉にとまれ」

の歌がさうですよ。その外にも澤山作つて貰ひました。歌の調子が活潑で、子供の調子だから子供はよろこびましてな、メイソンさんが來られるとあのお爺さんの周りに飛びついて行つたもんですよ。メイソンさんも亦幼稚園へ來るのがたのしみらしかつた。御自分は余り歌はないでバイオリンを弾いたり時にはピアノを弾く事もあつた。

幼稚園の用語をすつかり改めましたが、だいぶ不平の人もありましたな。幼稚園の言葉が漢字ではいかんと思ふ。西洋ではABCはお母さんが使ふ言葉だからよいが、織紙だの、圖畫だのと、日本のお母さんが使ふ言葉ではない。紙きり、紙たゝみ、畫き方といふ風にした方がよいと思ふて、やはらかい名に代へました。排板、排環、排箸などといつては子供には分りやしません。私はカナ

キチガヒと云はれますが、むづかしい漢字を學ぶために、吾々は何れだけ損をし間違ひを起こし、迷惑をするか知れないと思ふて明治五六年頃からカナの會を起しましたがそれについては大塚高師の、先日亡くなられた三宅さんには骨折つて貰ひました。

豆つなぎは、外國幼稚園紹介の本によると四角いコルクにきりで孔をあけ、木を細くけずつて用ふようになつてゐるが、あぶないから、豆をひやかしてひごで繋ぐようにしました。日本には竹といふ材料がある。明治三十一年に、アメリカへ行つた時、色紙やひごをお土産にしたら大變よろこんだ。西洋紙では摺む事は出来ない。今こんなもの輸出しとるか知らんが、あれをフレノベル館などが輸出すればいいと思ふ。

幼稚園の南庭に立派な花壇を作りましてな、池も掘り、温室も作つて冬でも花のあるようにしま

したよ。園舎の南側の壁にはわけてあつたのを庭に持ち出した藤棚は大變立派なもので、地方から出て參つた者は幼稚園の庭には驚いたものでした。メイソンさんが大變に藤棚をよろこび、珍らしがつて種を持つて歸りましたよ。

「婦人と子ども」の創刊は中村五六さんの時でしたか、大久保介壽さんの時でしたか、はつきり覚えてゐないが、雑誌を出す相談の時、私は「母と子ども」といふ名を持ち出した事がある。

× × × × ×

お年をうかゞへば、蜀山人より借りてと

七十七下よりよむも七十七

中よりよみしときもありしを

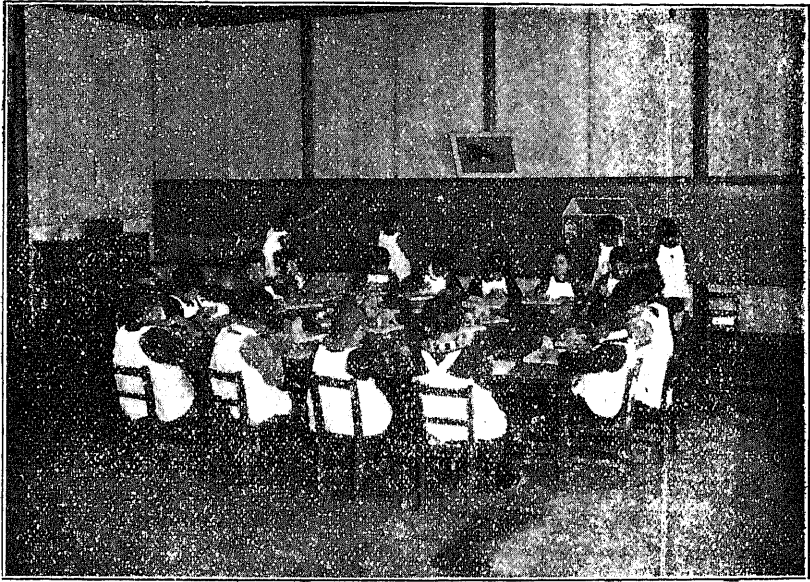
カードに書いて示された。大正十四年盲啞學校長を辭されて以來御静養の御身であるが、カナモジ、國字問題を話された時の御意氣は世の常の御老人には見られない。お話をうかゞつてきてはと氣づいた御門の表札「こにしのぶはち」を改めて、意味深く見直して歸りました。

(三月三十一日口述筆記きく子)

粘土製作

— 幼児の生活 (二) —

新らしい粘土の、適度の濕りをもつ軟らかさに觸れる時、幼児達の小さい指は、如何に快い造型製作の創作心に動かされることでありませう。或るものは放奔自在の想像力に任せて、又或るものは自ら寫生のモデルを求めて、見る／＼數多くの傑作を作りあげます。獅子・馬・兵隊・電車・舟・バナ、その作品目録を列挙することは容易ではありませんが、如何にも無造作に製作し如何にも無造作に自己の表現力を樂んでゐる小さな原始藝術家の、その淺々として盡きない製作的喜悦の無限には全く驚嘆の外ありません。(倉橋惣三)



東京女子高等師範學校附屬幼稚園

創立五十五週年を迎へて

氏 原 銀

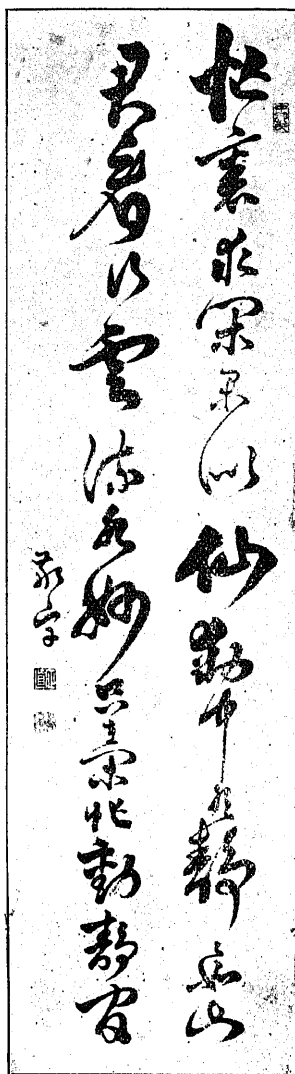
我國の幼稚園として、明治九年十一月東京女子師範學校（現今東京女子高等師範學校の前身）附屬幼稚園が創立せられてより、本年が五十五週年に當り、此五つ昔半の經歷を迎へる今日を限りなく慶賀す。今日では幼稚園事業全國に普及し、年々盛況を見るも、昔は幼稚園を理解するもの少なく、國民基礎教育を必要視せられざる傾向ありて此必要なる幼児教育も、時機早く切角の設備も蹉跌せし實例は、明治十二年五月大阪府で園舎庭園を立派にこしらへて、府立模範幼稚園と稱し、我國第二番目の開園として他府縣に卒先して開設し

此模範園と名づけたのは、此府立園が模範となつて此處に保育見習生を入學せしめ、此卒業生によりて、府下一般に幼稚園を設置せん主旨に出でたものなりし。此の見習生の出でて、東區愛珠幼稚園の一を開園せしのみで、此府立園は僅二年にして府會の協賛を得ず終に廢園の不幸に遇ひたり。之れ當時の府會議員の、幼稚園を理解する者少數なるにより、否決の運命を見たる事にて、之れ未だ時機の早かりしによるものなり。

此時府の當局者は之れを惜み、府の豫備金利子を流用して、明治十六年迄維持したるも終に廢園

となり、辛ふじて、府立幼稚園とし其系統を繼續す。斯の如く世人の幼稚園の事を能く理解し得ざる時代も、無事經過相成りたる、女高師附屬園の今日に繼續益々發展盛況裡に、此目出度五十五週年を迎ふる事は、大に慶賀する次第なり。之れ代

文部大輔 (次官相當) 田中不二麿氏
 文部少輔 (普通學務局長相當ならん) 神田 孝平氏
 創立以來の職員
 攝理(校長の事) 中村正直氏 監事 關信三氏



中村正直先生筆

々の職員諸氏の熱誠以て職責に當られたる結果と敬意を表して賛美する所なり。其創立當時(明治九年)の文部省の事は存ぜざるも、私の保育見習として在學(明治十一年)の頃の當局者は左に

文部卿 (大臣相當) 西郷 從道氏

主席保母 松野クララ氏 保母 豊田英雄氏
 保母 近藤濱氏
 本園の創立當時に於ては、我國始めての事として其設備供給上に付き、其職員諸氏は幾多の辛勞ありし。其器具恩物等の一通り見本を、獨逸より

取寄せて之れを模造さすのに付ては、我國では何分始めての事とて、其造り方思ふ様に出來ず、殊

に其見本の机面にはインチ方罫を引くもの、之れが正確に出來ず、又其恩物の積木の如きは、角度の正しくなく、之等を度々造り直ほさせ、又色紙の如きは見本は皆洋紙なれば、之れを日本紙に染めさすに度々と染め直ほさせ、又褶み紙、織り紙等の裁ち方も、其角度正しからず、之等の改造差圖に中々苦心を拂はれたり。就中保育唱歌は皆無の時代で、保姆豐田先生同近藤先生が作歌して之れを宮内省式部寮の伶人先生に作曲を願ひ、之れを伶人諸氏に教授を受け、保育に使用すると言ふ順序で、中々一つの唱歌を得るに今日の如く手

易く出來ざりし。此作曲者教授者としては、東儀季芳、芝葛鎮、林廣守の三氏交るゝ幼稚園に來られて職員一同へ教へられたり。其後官立音楽校私立音楽校が出來て年々多數の卒業生出で又唱歌

書の出版も多くなつた。今日より見れば、實に想像も及ばざる不便の時代なりし。

凡何事も其創設時代に於ける苦心は免れざる事にて、本園初代保育者諸氏の此衝に當り、能く今日の基礎を立てられたるを感謝すると共に、之れを繼續せられたる、代々の保育者諸氏の科學の進歩に伴ふ時代思潮の研鑽に努められ、幾多の改良をはかり、其體面を整へ、内容の充實をはかり、全國に模範を示し且指導して、今日の發展を見る。其努力の程を敬意を表して感謝す。茲に創立五十週年を迎ふるに付、謹で祝辭を述べ、拙文を以て其時の狀態を記す。

左に五十三年前本園在學の頃に於ての出來事の意外に感じた事又面白かりし事を記す。

一、伶人東儀季芳先生が 唱歌教授の爲め例よりもは早く來園相成し時、宮様が妃殿下御同伴で御來園あつたので（此宮様の御名は忘れまし）

東儀先生は、宮様兩殿下に拜謁せられた處、妃殿下が季芳久々でと、御挨拶の御言葉を賜つた時、宮様は何久々ではない、例も東儀季芳の我邸に來る時は、すき見をして居ると仰せられたので一同は、宮様の滑稽な御言葉を面白く拜聴せり。

二、主席保姆松野クララ先生は、日本語に熟せられず、私の名を呼ばれるに、尊稱を付けて、お氏原さんと申されたので、おかしさをこらへて返事をしました。

三、或時松野クララ先生が胃瘵撃おこり、一同驚き本校の方へも通知する、又向ひの順天堂へも來診を頼みに行く、本校からは中村攝理も他の職員使丁等を連れて來園有り。其松野先生の病勢は中々激しく、醫師の注射も數度で、漸く痛みも治し一時は大騒ぎなりし。夫れから、先生を安靜に御宅へ送る方法を、一同相談中、突然本校使丁が本校に待ち居る中村攝理の馬車にて送る事を提議

した處、中村攝理は使丁に向ひ、君の説が良いと申され、直ちに決行、關監事同車して、松野先生の御宅に送られたり（中村攝理の使丁に對し同輩に於ける態度で君の説がよいと言はれし時其身分の階級の念なし溫情深く見受けられ何となく尊敬の念を感じず）

四、或時平常は大して亂暴にも見えぬ男幼兒の泉水の中の龜の子を取つて來て其龜の首を抜き取つた事あり。一同大に驚きたり。之れ龜の其首を伸ばし又は縮めたりするを見て研究的にした行爲ならん。

五、泉水の金魚に麩をやるに、其周圍に幼兒を並ばして其手に麩を一つづつ持たすに、其中の幼兒の一人が麩を頂戴と言ふ。確かに一同へ渡す時與へた筈なるに、請求するによゝ未だ與へぬものと思ひて麩を渡したるに、又請求せり。之れは金魚にはやらす、自分がたべたもので、此時は午後

なりしにより、間食時近附て、自宅へ歸る迄待ち
きれず食慾の起りたるものならん。依て金魚に麩
を與ふるに時を選ぶ必要ありと一同思ひたり。

幼兒教育の第三十卷發行を

祝して

本年は幼兒教育の誌齡三十卷を重ねる事となり
しを慶賀す。本誌の起原、フレイベル會報、婦人
と子ども、幼兒教育三改題を経て、今日其紙面の
記事益々發展、全國は申迄もなく新領土及海外の
保育者に、幼兒教育と唯一の雜誌として、參考指
導の役目をなし利益を附與せらるゝ事は、實に斯
道の爲め大なる仕事と言ふべし。併し此編輯に付
ては別に専任者有りての事業でなく、代々の女高
師附屬幼稚園の職員諸氏の、本務の餘暇執筆編輯
に従事せられ、今日に繼續せらるゝ、其勞力の程

を感謝して止まざる次第なり。

尙本會は保育の研究向上の爲めに夏期保育講習
會を開催せらるゝ事數度。此第一回は神田橋詰の
東京府教育會内に於てす。其後はお茶水幼稚園の
遊戲室に於て開かれ、全國より上京の保育者多く
私も大阪より數十名と共に出席せり。此の閉會の
當日には茶話會を開き、各員のかくし藝に、落語
あり、謠曲あり、勸進帳をオルガンで弾く者等あ
りて實に面白かりし。此講習會が、其後毎夏開催
の文部省の保姆講習會の前身と言ふべし。以上本
雜誌の今日あるを祝すると共に、之れが編輯に、
努力せられし代々のお茶の水園の職員諸氏并に、
現代の職員諸氏の勞力を、深甚に敬意を表し謹ん
で感謝し併せて昔時の思ひ出を記す。

懷古

目白幼稚園 和田 實

幼児の教育が創刊せられて、茲に參拾年。其前身たる「婦人と子ども」に關係して居つたと云ふゆかりで、何か懷舊談でもと云ふ御注文。で、私も何か編輯上の苦心談でもと書き掛けて見ましたが、思はしい事もなし、それで、唯幼児教育其物に就いて考へて見ることにしました。

我國に幼稚園の始まつた當時の保育法は云ふ迄もなくアメリカから輸入したもので、フレイベル式の恩物が保育の中心、之に唱歌、遊戲が伴ひ、又談話が多少配されて居た様でした。其後、實行の結果から、段々と部分的に改廢されて、二十恩物の中、漸次に、三體、紙刺し、木片組み方、連

板などは使はぬ様になり、積木も改良されて、四種が三種となりました。今、フレイベル館で賣つて居る第一より第三に至る積木は當時の幼稚園主事であつた中村五六氏が時の保母諸姉と相談して決定されたものだそうです。

私が女高師幼稚園の職員となつたのは明治三十八年でしたが、其頃の幼稚園では、第一恩物の六種も減多に、使ふ人はありませんでした。當時行はれて居た恩物としては積木、色板、箸輪、石盤、縫ひ取り、紙剪り、紙織り、紙組み、紙たみ、豆細工、粘土細工の十一種でありました。此十一種の恩物を手技として課し、尙此外に談話、

唱歌、遊戲の三保育事項を課することになつて居ました。そして、此四つの保育事項が大略、同じ程度の重要さを以て、幼兒に課されて居る様に見えました。夫れですから、舶來當時の繁鎖な恩物取扱法は最早其影を殘して、私の見た限りに於ては、何の恩物も頗る子供らしい取扱をされて居て、別段、幼兒に無理を強いたり、わざとらしい注入をしたりする様なことはありませんでした。恩物及び其取扱が斯く進歩して來た様に唱歌及び遊戲なども、餘程、心理的に幼兒に適する様になつて居て、幼兒は心から、唱歌を娛しみ、遊戲を嬉がつて居る様でした。是は文部省編纂幼稚園唱歌集と云ふ本と東基吉氏編著の幼稚園唱歌集との内容を比較して見ると、誰にも明瞭に其進歩の跡が窺はれます。

談話に就いても同様な跡が見えました。保育法輸入當時の談話には随分、高尚に過ぎる材料もあ

つた様でしたが、當時の談話内容は頗る幼兒の心理に適するものとなつて居て、保姆のお話しは能く幼兒に樂しまれ、傾聽せられて居ました。

然らば以上、四種の保育事項が、何んな理論に因つて統制されて居つたかと云ふと、是には二つの代表的著述があつて保育界の骨子となつて居りました。一つは中村五六氏の幼稚園保育法、一つは東基吉氏の幼稚園保育法教科書でありました。

併し私が幼稚園の教育界に入つてから、不思議に想つた事は、所謂、保育事項の四つの課程が、恰も學校教育の教科目の様に見做され、取扱はれて居て、幼兒は亦之を稽古だと思つて居る様に見えた事でした。夫れ故に幼兒は四つの課業の時は能く緊張して居て、随分忍耐もし、努力もする様でしたが、何うも積極的の自己活動でなく、動もすれば消極的、受動的な活動をして居る様に見ゆ

る節が多くなりました。是が、私には頗る不思議に思はれると共に、又頗る遺憾に思はれた事でした。形式の上から見ても夫れは、學校とあまり違はぬ様を行方でもあつたのです。例へば、時間割を極めて月曜日には恩物の何に話しは何、遊戲は何と云ふ様に定めて何時より何時迄何をする、と云ふ様に豫定を立てたものです。丁度、四つの保育事項は四つの教科目の様で、其保育事項の課業中は學校の授業中と何等變りはない様でした。

私が第一に起した不審は四つの保育事項は教科目であらうか、其課業は稽古即ち學習であらうかと云ふことでした。今から考へたら、私が斯んな質問を發することは馬鹿氣さつて居るとお考へなさる方も多からうけれど、當時の保育の實際を見たならば、現在の諸君でも必ず驚嘆されたに違ひないと思ふのです。併し、私の不審は間もなく解決されました。是れは、フレーベルの主張する幼

兒教育の本旨でないと云ふ事は間もなく理解されたからでした。併し又、幼兒には稽古させるのではない。遊ばすのだと云ふことが判ると同時に第二の不審が出て來ました。夫れは何かと云ふと四つの保育事項が、子供を遊ばして居るのだとすると、子供の遊びを此四つに限るのは、少し變ではないか、子供の遊戲は此四つ以外には無いのだらうか？ 否々、子供は四つの保育事項の外に、其自由の時間に於て、數へ切れぬ多くの遊びを持つて居る。して見ると保育事項を四つに限ることは少し變ではないかと云ふ第二の不審が出て來ました。夫れと同時に前記二先生の著書が何れも此四つの保育事項を完全に施行することで幼兒教育を説き了つて居ることが、少し物足りなくなつて來ました。甚だ生意氣な事でしたが。併し、物足りないことは何處迄も物足りないのですから、何とかして此物足りなさを解決したいものだと思ふ考

へが日夜、私を悩ました。そして、

一、幼児の遊びの種類には何んなものがあるだらうかと云ふこと

二、遊戯の各種類毎に何んな教育的考察が要るだらうかと云ふこと

三、幼児をして真正の自己活動をさせるには何んな風に遊ばせたものと云ふこと

四、遊戯以外に幼児を教育するものは何かと云ふこと

以上、四つの問題が絶えず私の腦裏を往來して居ました。そこで、私は教育の根本方針に立ち返つて考へて見ました。すると、ルソーの所謂兒童教育の方法は兒童の發達其ものに求めなければならぬと云ふ大原則を思ひ出しました。夫れて私は早速、方向を轉じて幼児の生活其ものを仔細に分析することにしました。そして其處には幼児の生活として、衣食住や寢起きに關係した受動的の

日常生活と父母兄弟朋友などとの社會的(交際的)生活と自己の眞正の發展的活動であるところの遊戯的生活との三方面があることが判り、そして、教育は此三方面に於て夫々、充分に教育的考察を持つ可きものであることが判りました。そして、更に幼児の遊戯的生活には何んな種類があるか、其材料には如何なるものが使用せられるか、其遊戯は如何に發達し行くか、と云ふ様なことが段々に判つて來ました。斯くして幼児の生活の細部が判つて行くに連れて、凡ての遊戯事項の根本の性質からして、自然と其取扱ひ方も會得が行くやうになりました。そこで、從來行はれて居る様な學校風なやり方、稽古風な遊び方は止めなければならぬと同時に、教育は稽古じみた保育事項以外の遊びや、交際や、生活に大に注意しなければならぬと云ふことに氣付き、所謂、保育法は單に幼児の保護養育に止まる可きではなく、否却つて幼児

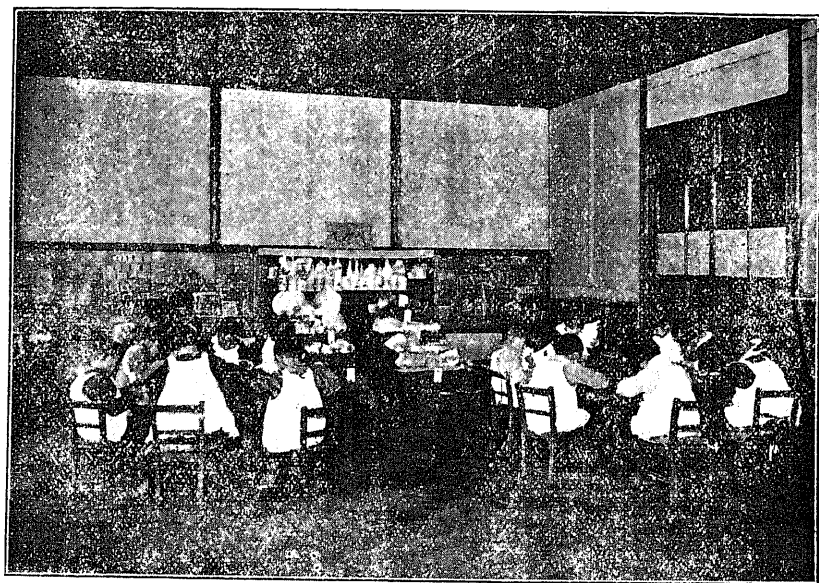
は極めて積極的に發展的に教育せられねばならぬと云ふことに氣が付いたので、從來使はれて居つた「保育」の文字を嫌つて「幼児教育」の文字を使ふことにしました。現今では幼児教育の文字は誰れも何の氣なしに使つて居ますが私が明治四十一年に「幼児教育」法を出さぬ以前には使はれなかつたものでした。

拙著幼児教育法は斯る意味で、從來の稽古風な保育法學習的な保育法を脱して、眞に子供を遊ばせることに因つて教育して行かうとする意味を、教育學上から、説明したものでした。幸に此主意は何等の反對意見もなく擴がつて行つて、今日では既に普通の教育思想となりましたが、想へば拙著幼児教育法は保育界に於ける劃期的の著述となりました。

爾來、星移り年代つて、二十餘年になります。従つて、幼児教育の内容は大部變つて來た様です

が、私の眼指して居る幼児發達の規格其ものゝ調査並に其調査に基く教育施設の適合と云ふ點には未だ遺憾が多い様であります。是は一には一時盛んになり掛けた兒童研究が徒らに、一部心理學者の個性的心理研究に引きづられて兒童の個性の内容にのみ重きを置いて、一般的綜合的發達に眼をつけなかつた結果だらうと思ひます。是からの教育者は向きを變へて今一度兒童發達の根本に歸り兒童研究を發展的に調査して、眞正の主觀的自然主義の教育を奮ひ起さねばならぬものと思ひます。

幼児教育の熱心なる研究家、理學士文學士大塚喜一氏は、成城學園幼稚部にて保育の實際を研究されましたが、今回、京都市平安女學院保姆科の教育・心理擔任として赴任されました。



八百屋遊び

— 幼児の生活 (三) —

「おとなのするやうに、自分でも買物の真似がしたい。それよりもなほ、賣り手になって見たい。」斯ういふ心持を動機として、先づ八百屋の店が作り始められます。壘・罐詰・籠などから大根・白菜・慈姑、さては切り干し芋の細いのまで、その製作の一つ／＼には、厚紙や粘土を材料とする各種の手技工程がとり入れられてあります。一群の幼児達は同じ厚紙で貨幣を用意致します。いづれも、練習とか稽古とかいふ練習意識を全く離れて、自分達の仕事に専念没頭して居ります。——新保育法中の所謂「目的保育」の一齣であります。(倉橋惣三)

筆のついでに

野間　と　よ

この「幼児の教育」が三十卷に達しました事を御祝ひ申上げ尙將來一層の發展を切望いたします。

筆の序に——前かたお茶の水高等女學校の父兄會に出席しまして生徒の成績品を見ました時、先づ目につきましたのは果物の水彩畫でありました、此繪は素人の私には實に立派なもので女學校程度でようもこんなにかけるものとたい／＼感心して暫く見とれました、フト名前を見ましたら其れは私が曾て幼稚園で世話をした子供のそれでありました、私は二度びつくりして改めて其繪を見つめました、幼稚園にゐた時頭からすぐに手や足の出てゐる人を畫いて得意になつてゐたあのオカッパさんの小さい子供がどうしてこんな繪を畫く

様になつたのかしらん、子供が發達するは當然の事で何の不思議もありませんがそれでも私には實に不思議でなりませんでした、いくら考へてもあの子がこの繪を畫いたとは思はれませんでした、そして急にその子に逢つて褒めて上げたくなりました、暫くいろ／＼の思出に耽りながら次から次へと見て參りますとなつかしい名前の數々、何れも實に立派な繪を畫いてをります、本當にどうしてこんなに畫けるやうになつたのでせう。習字の成績を見ましても實に立派なのがあります。これが幼稚園時代畫き方の中に文字だか繪だか分らない様な字、左文字などを書いて喜んでゐた人達の筆であるとは思ひもよらぬ事であります。裁縫・お

細工物に於てもたゞ其發達に驚くばかりで自分が恥かしくなりました。もしも私が此人達を幼稚園から女學校まで引つゞいて受持つてゐたとすれば此發達は餘り際立つては氣付かなかつたかも知れませんが何しろ振分髪の時しか記憶に残らぬ私が此成績を見ては何としても驚かすには居られませんが。喜ばずには居られません、教育といふものゝ有難さが沁々と味はれます。

或日立派な若い紳士の訪問を受けました、「先生僕今年大學を卒業しました。近い内には大阪へ赴任いたします」と、幼な顔はあり／＼と其儘です。まあよくもこんなになつて呉れた、よくも此邊鄙まで訪ねて來て呉れた、と涙ぐまずにはゐられません。此人は私が初めて三年間手鹽にかけた丸々と肥つた實に無邪氣な子供らしい子供でした。いつの間にかこんなに大きく立派になつたのでせう。學生時代は餘り音信はありませんでしたが、卒業

したと云つて態々訪ねて來て呉れました。年賀狀は必ずよこして呉れます。幼い頭に映つた私を十七年も八年も忘れずにゐて呉れたかと其れ丈けても骨折甲斐があります。

幼い人達はかく知らぬ間に時々刻々と發達して止みません、私は此多くの人々が心身最も健かに生い立ち多年の學生々活に勵み、終へては社會の一員として正しく強く其一步一步を踏み締め、決して再び繰り返されぬ各自の歴史を最も清く美しき綫に織りなして、倦まず撓まず進まれん事を切望してやみません。

之と同時に其發達の基礎となる家庭教育、幼稚園教育の大切な事、其力の偉大なる事は今更申す迄もありません、又之等に從事する者の骨折苦心は凡ての他の教育事業と同じく一通りや二通りではありません、然し其内に希望はあり、喜びはあり、尊さはあります。御互様に大に努力させよう。

會名變更と改題を中心にして

倉 橋 惣 三

私が當時の「婦人と子ども」に寄稿し、つゞいて編輯を引受けるようになったのも随分古いことであつた。そして、相當力をも盡し、時とすると一冊の雑誌を殆んど全部自分で書くといふやうなことも一度ならずあつた。但し、之れは、編輯者として原稿を集める努力が足りないで、机の上で其の埋め草を書いた譯で、勉強といふよりも寧ろ不精の罰であつたのであるから決して自慢にはならないが、兎に角く、お蔭で、幼稚園教育に關する筆の仕事は多少させて貰ふことが出来たのであつた。先年小著「幼稚園雜草」を出版するに當て附屬幼稚園の方々が親切にも此雑誌から清書して

下さつた分量は可なりかさ高いもので、折角くのお骨折りを無駄にして濟まないと思ひつゝ、其の一部分しか版にしなかつた程であるが、それにしても、一つの雑誌に、よくも斯う澤山の分量を書かせて貰つたものだ、其の時自分でも呆れた位であつた。その分量だけ多い執筆が、讀者の爲に何の役に立つたとも思はないけれども、自分の爲に、いゝ稽古臺になつたことは、深く感謝して居るところである。

そんな譯で、其の頃は、此の會と雑誌とを、まるで自分のものでもあるかのような親身の氣で一切をやつてゐたのであるが、そうすると熱心の餘

いろいろのことも考へ出すもので、會の名と、雑誌の名とについて、何だか更新の必要があるように思ひ出したのであつた。それも變更の爲の變更といふような氣まぐれではなかつたと今でも信じてゐるが、何しろ、會と雑誌の名が始めて定められた時とは時代も移つて來てゐるので、そんなことが自然私の心に起つたものと思ふ。殊に、其の頃は私もまだ若かつたし、一體我國の幼稚園教育が、いつまでもフレイベルの名を本尊として行はれなくてもよからう。フレイベルは歴史的に幼稚園の創始者として永く尊敬しなければならぬ。しかし、今日の世界の幼稚園は、從つて我國の幼稚園も、現代の教育精神と教育原理によつて行はれてゐるもので、フレイベルによつて行はれてゐるものではない。今日の幼稚園はどこまでも我等の幼稚園である。といふやうな氣持ちに力味かへつてゐたもので、(今日でも勿論同じ考へでゐる

が)——だからフレイベル會の會名を變へなければならぬといふ狭い理窟の筋合になると定つたものではなかつたかも知れないが、少くとも、日本の幼稚園の協會といふものが無ければならぬとは強く思ひ立つて居たのであつた。それで、若し私にもつと大きい力があるならば、此の光輝ある古い歴史をもつフレイベル會の名は其のまゝ存續させて、別に、新たに一つの幼稚園協會を創立したらいふ風のこと、切實に考へもし、また人にも意見をきいて見たりした。しかも、その事情と、私の微力とが、そういふことを六かしいと思はせ、又そんなことをして、萬一フレイベル會の名だけ存して實を空しくするようなことがあつては、義理に即して却つて忠實を缺く恐れもあるといふようなことを考へたりして、新協會創立をやめて、會名を變更することに私の心だけの問題としては考へたのであつた。私は、どちらかといへ

ば、古きを捨て難い、一種尙古型のところのある性質で、改革とか、更新とかいふ威勢のいゝことは向かない方であり、今でさへ、あの時、フレール會の名を存して置いた方が、矢張りよかつたのかしらと、思ひ切り惡く思ひ出すことがあり、現に、ロンドンのフレール會協會を訪問した時など、ひとり何だか胸さわぎを感じて、日本にも嘗てはフレール會があつたが……と後は口の中でもぐぐ、誰れにといふことのない言ひ譯けめかしい言葉をいつたりした様の人間で、あの當時、そう自分の心を決めるまでには、どんなに心の中で悩んだものか知れない。

雜誌の名に就ては、これよりも簡単な問題で、會が機關誌の名稱を變へることは世間にも珍らしくない。それに、「婦人と子ども」といふ名稱が、我國の幼稚園教育の發展と充實を使命とし、職分とする雜誌として、聊か漠然に過ぎ、明確なる標識

を缺くことは、當時何人も氣がついて居たことであつたのである。殊に、之れも若かつた私だけの考へとしては、一體（若い時は誰れでもよく直きに、一體をいふものです）「婦人」と「子ども」を一つ並にいつしよにするのはよろしくない。おんな、こどもといふ我國在來の舊い言葉には、婦人をも、子どもをも輕侮したような怪しからぬ見方がある。子どもの爲を思ふのは、婦人の大事な天分ではあるが、決して婦人に限つたことではない。どうも、此の名稱「婦人と子ども」のまゝでは、幼稚園の問題に大いさと、重さとを聯想することが出來難い。もつと堂々でなくとも幼稚園教育の雜誌として、端的明瞭に其の使命を表示する名稱にしなければならぬと考へたのである。詰り、從來のやゝ通俗的な名稱から専門的教育雜誌にしなければならぬと、之れは會名變更の問題よりも前からひとりで力味かへつてゐたことであつた。

自分の心の中ではそう考へても、會として重大な問題であり、第一、會長、主幹の意見を俟たなければならぬ。當時主幹は安井哲子女史で、別に反對もせられなかつたが、當時の會長中川謙次郎氏は、もう少し考へてといふ御意見であつた。

フレーベル會なり、「婦人と子ども」なりの創めから間接直接いろ／＼の御關係が深かつた上に、其の慎重な御性格からは極めて無理からぬこと、思つたので、其の時は其のまゝにして、從來のまゝで會の活動なり、雜誌の内容なり益々充實發展させることにつとめた。ところが其の後、私が主幹

となり、よかれ悪しかれ、責任を正面に負ふことが出来るやうになつたので、悪かつたら一切自分で責を負ふといふ心で、當時の會長湯原元一氏に總ての意見を申し出た。會長としては、それが會の爲に實質的に多少ともよいことであり、又會員諸君に於て異議がないならば、實行してもよから

うといふお話であつたので、更に幹事諸君（それは會長に謀る前に寄々相談してあつたが）と協議し、大正七年十二月十四日臨時總會を開いて、此の事を議題とし、満場異議なく可決せられた次第であつた。押し迫つた十二月に臨時總會を開いたのは、愈々實行するとなれば年の中途でなく、一月號からした方がいゝといふ爲であり、而して翌大正八年一月から會名を日本幼稚園協會と更め、同時に雜誌の名を「幼児教育」と更め、爾來今日に至つてゐるのである。

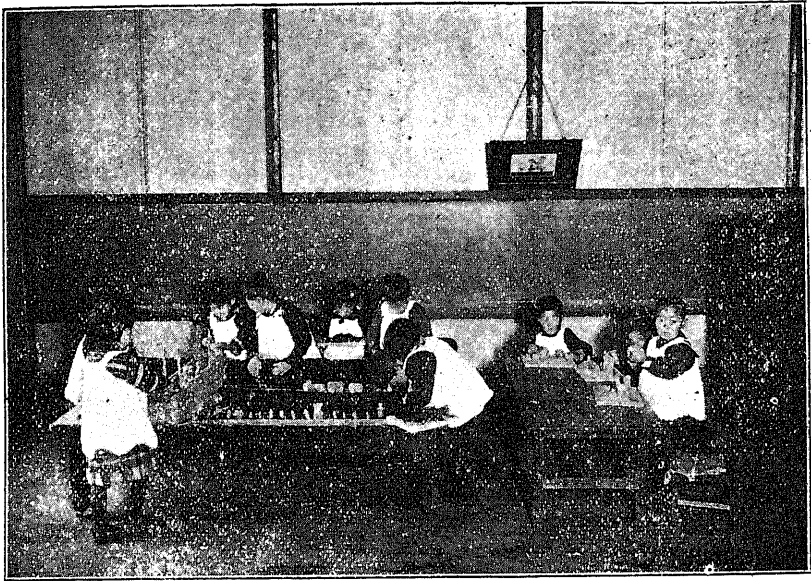
前にも申した通り、此の變更は、吳々も、徒に新らしきを好む、變更の爲の變更ではなかつた。我國の幼稚園教育の發展を通觀して、その中心活動の一機關としての本會の職責を名實共に一層意義あらしめようといふ心願からであつた。尙ほ又、當時、私の一つの希望であつたところの、萬國幼稚園協會への加入の爲には、我が國を其の名に於

て、代表する協會として置いた方がいゝといふ考へもあつたのであつた。之れは、今日未だ實現せられてゐないが、其の機會の來た時に、日本幼稚園協會の名は都合がいゝと思つて居るのである。

雜誌の方に就ては、其の主眼目を幼稚園におくことは勿論であるけれども、敢て幼稚園のみに限らず、社會事業の方面でも、社會教育の方面でも、家庭教育の方面では勿論、要するに、幼兒期教育の全方面に向つて、其の問題を含有させる必要があるを信じて、特に幼稚園雜誌とせず、幼兒教育といふ廣い名稱を撰んだ譯であつた。

但し、此の改稱がよかつたかどうかは、いろいろの違つた感じもあることと思ひ得る。殊に、我國幼稚園教育の始期に當つて、よく其の指導者たる任務をつくし、貢獻するところ大なりしゆいし、ある名稱に對して、その存在をつゞけさせなかつたことは、今でも遺憾の感がないではない。

勿論、其の時の心は全く上述の通りであつて、先人の志を尊重し、本會の古き歴史的光輝を益々高揚させる爲に他ならなかつたので、其の點は今にして何等の悔も思はないが、古きを偲ぶ心に於ては、誰でも惜しい感じを去ることは出来ないものである。殊に、幼稚園創始者としてのフレイベルの名を記念する會が其の爲に我國に無いことになつた點は、其の意味に於て頗る惜しい。私がフレイベル會の名稱變更を主唱したからといつて、フレイベル其人に對する史的敬意をもたないといふ譯では決してなく、それは、今此の文を草しつゝある私の書齋に、現にフレイベルの肖像を掲げてあることでも分つて貰へると信ずるのであるが、たゞ、當時の（而して今日も同じく）私の心は、そうした懷古の心よりも、現在と將來との我國の幼兒教育のことで一杯であつたゞけである。



砂 箱

— 幼児の生活 (四) —

幅九十糎、長百八十糎の大箱一ぱいに盛られた砂、幼児達は「聖橋にしよう」と、いひ出しました。そして中央を横に長く、一氣に砂を掻いて川としそのくせ丹念に兩側の砂を叩いて岸に仕上げました。庭へ草をとりにゆく子があります。粘土を持ち出して来て路に欄をつける小兒があります。なか／＼よく細いところに氣が付きませんが、しかも皆の興味の中心は雄大な聖橋にあります。一かゝへもある多量の粘土が、幾人かの小さい手で先づ太く長い矩形にたゞき固められました。そしてみる／＼中に、あの復興局自慢の昭和新橋の一つが出来上りました。その粘土が乾き出すにつれて、次第々々に眞にせまつてくる色工合を眺めては、「コンクリート、コンクリート」といふわれながら満足したらしい叫び聲さへ、熱心な小い技師達の口から出しました。——大人の箱庭、老人の盆景と全然ちがつて、現代のお茶の水の幼児が作つた砂箱には、壯大美と現實美との美事な綜合があります。(倉橋惣三)

座 談 よ り

與 謝 野 晶 子

わたしは自分の子供の幼年期には、何よりも健康に注意して來ました。風を引かさないやう、腐敗した食物や、疫痢に感染する危険のある或種の果物を食べないやう、廉價な材料で榮養のある食物を混食させるやう、骨を丈夫にするために石灰分のある物を食べさせるやう、よく含嗽をさせ、顔や手を洗はせるやう、しばしば湯に入らせるやう、厚着や薄着をさせないやう、食べ過ぎないやう、よく日光と外氣に當らせるやう、運動をさせるやう、こんな事に斷えず氣を遣ひました。そんなにしても、小學へ行くやうになりますと、或る兒は水痘を、或る兒は猩紅熱を、それから大抵の兒どもは麻疹を煩ひました。小學で感染して參るのですから、家庭で防ぐことが出來ません。

兒どもは氣の附かないものですから、顔色や様子を見て親が驗溫器を當てさせますと、熱があつて風を引いてゐる事があります。それで常に驗溫器を用意してゐて、早く兒どもの風邪を發見するやうに注意しました。

食物の衛生を細心にしてゐますので、宅の兒どもは中學や女學校を出るまで殆ど腸胃の痛みを知らな

かつたですが、高等學校や大學へ參るやうになつて、外で食べるために腹痛を知るやうになりました。

日當りのよくない市内に住んでゐた頃は、よく風を引く兒がありました。郊外へ參つてからは、冬の寒さが厳しい割に却て風を引かなくなりました。空氣は寒くても、よく日光に當るためだと思ひます。

私は兒どもについて健康が第一だと考へてゐますから、衛生には注意しますが、學問の勉強は全く放任にしてゐます。勉強せよとか何を讀めとか申した事がありません。勸めては却て反感を持つたでせうが、放任して置くと、却て自然的にいろいろの書物を讀み、好きな物は自然に自分で勉強致すやうです。

讀むことを親から獎勵しませんが、兩親が常に讀んだり書いたりするのを赤ん坊の時から見てゐるためでせうか、宅の子供は三歳ぐらゐから何れも讀むことが好きで、お蔭で怠け者が一人も居りません。その自發的な要求に應じるために、幼年の時から、獨りで引出して讀むやうに、いろいろの書物を買つて、兒ども等の目の附く所に備へて置きます。繪本やお伽噺の類は、よく中味を調べて、殺伐なものや、俗惡なもの、野鄙なものは備へないやうにしてゐます。放任的と云つても、間接に是れだけの注意は致してゐます。

また讀んで質問をする兒には、忙しい時でも快く答へてやります。一所になつて讀む時もありますが親から先きに何を讀めとは申しません。兒どもに自ら進んで讀む發見の喜びを持たさうと思ふため

す。私自身にしても、曾て勝手に倉の中から引出して讀んだ書物が幼な心に嬉しかつたのですから。

この意味で、私は家庭に必ず新古の藏書があつて欲しく、また両親が自身に讀書する習慣があつて欲しいと思ひます。幼い兒どもは、よく大人の眞似をしたがりますから、その性情を自然に伸ばさせたいものです。

私は自分の兒どもを幼稚園に一人も出さなかつたのですが、それは専ら前に述べた衛生のためからでした。併し今日は幼稚園が進歩し、保姆達の注意が行届いてゐますから、幼稚園へ兒どもを出して病氣に感染するやうな恐れが無く、却て健康になるであらうと思つてゐます。

私は幼稚園の事をよく知りませんが、智慧を授けたり勉強させたりする所でなくて、専ら兒どもが快活に、さうして品よく遊ぶ所であつて欲しいと考へます。それが私の望む幼年の兒女の健康を充實させることになるでせう。

幼稚園で土に親んだり、唱歌したり、假名文字や行儀を習つたりするまでは宜しいが、書物を教へるのに類似したことは避けねばなりません。言ひ換へると、學生らしい意識を幼年者に持たせることは宜しくなからうと思ひます。何となれば、教育には兒童の好新性と感激性とを利用することが必要です。幼稚園で早く學生らしい意識を持たせると、小學へ入學した時に、先生と學校教育とに新味を感じず、感激の喜びに心を新しく躍らせる所がありません。兒どもの前には一步一步に新しい祕密の坂があつて、

それを突破する所に創造の喜びがあるのだと思ひます。

學校に早く慣れさせてはいけません。この意味から幼稚園は遊戯場であつて、學校風でないやうにありたいのです。同じ意味から、私はまた小學の中に幼稚園の併置されてゐるのを好みません。

保姆は教師でなくて、私は舊敎の尼さんのやうな清淨な、さうして慈愛に満ちた役目をして下さる人々であると考へてゐます。妙齡で、敬虔で、快活で、純情的で、聰明で、親切で、藝術的で、さうして衛生學的であること、是等の條件が揃へば理想的だと思ひます。

新刊紹介

日本一のエバナシ讀本

カタカナオトギとして一、キンタロウ二、イナバノ白ウサギ、三、ウラシマタロウ、四、イツスンボウシ、五、オホエヤマ、六、ラシヨウモン、七、ハゴロモ、八、ウシワカマル、を二冊におさめたものと更に一、サルカニカツセン、二、シタキリスズメ、三、モモタロウ、四、カチカチャマ、五、コブトリ、六、ハナサカザザ、七、ブンブ

クチャガマを一冊におさめたものとあります。幼年敎育研究會編で倉橋惣三敎授の責任推奨のものであります。倉橋敎授の推奨の言葉の中に「子どもの讀みものについては年齢によつてそれ／＼違つた問題があるが、幼稚園乃至小學校初級時代は丁度知的にも情的にも各自の方向へ芽ばえる時期にあるだけに特に十分な敎育的效果を考へねばならぬ。殊に幼兒の最も親しむ繪本に於ては大體として刺戟の強過ぎるもの、感情の纖細に過ぎるもの、考へ方の複雑過ぎるもの等は俗惡低級のもの徒らに新奇を衒ふもの、架空突飛に類するもの等と共に極力排斥せねばならぬ。」とある。この注意ふかい選擇のものに編纂せられたこの日本一のエバナシ讀本は誠に名實相伴つたよいエバナシの本であります。

定價金八拾錢文敎書院、寶文館が發賣元であります。(堀生)

英國婦人日常の一端

宇佐美 敬

各國の幼稚園の様子、子供を中心としての事業はもとで詳しく書くことにいたしました。今日は、あららの家庭の子供の教育、主婦の家庭生活をお話しいたしませうか。

最初にマルセーユに上陸して六月四日にパリにまゐりましたがその時はもう見たいと思ふいゝ私立學校の子供は避暑に出かけてゐました。フランスでも英國でもよい家庭の子供は私立學校にいれます。公立學校の方は無月謝で、中以下の子供がはいり、場所も市のはづれに重に工業地帯にあります。この方は二三參觀いたしました。御承知のようにパリには子供が少く人口が段々減つて行き

ますので母子保護事業に對して政府はかなりの費用をかけて施設をして居ります。パリの不良兒の感化事業は世界一だといひます。大基模にやつて居りますし、成績の上つたものでした。

ダルクローズのリトミック教員養成所は一週間つゞけて小さい子供の稽古まで參觀いたしました。パリはこのリトミックが大變に旺なものです。その卒業生が大きいビルデングの一室を借りて一週に一回か二回幼稚園時代小學校時代の子供を集めて教へてゐる程一般的になつて居ります。リトミックはもう世界的です。アメリカの幼稚園でも小學校でも採用してゐない所は殆んどありません。

ん。殊に金のあるアメリカではピアノの先生とリトミックの先生二人掛りです。いつたい音楽だけは幼稚園も小學校も専門の先生が来て教へられてゐるのが一般のやうです。誰でもピアノが弾けるつていふのは無理な事かも知れません。その先生は一つの幼稚園の先生でなく諸所のかけ持ちです。マンハッタンのナイスリスクール、ニューヨーク市の貧乏地帯にあるこの無月謝校ですら、その様です。英國でもリトミックは相當採用されてゐました。ニューヨークのリンカーンスクールで、ピアノと踊りの先生が來られて、時間を定めて順番に子供が入つてきては愉快さうに曲に合せて踊つてゐました。先生がちやんとこしらへた一つのモーションを教へて練習の結果面白くやれるのは、全然しなくはありませんが、非常に少ない。リトミック式に、曲を聞いて子供が獨りで愉快さうに踊つて居ります。ボストンのシェーデー

ヒルスクールで、子供の健康の上からも一番リトミックの徹底が緊要だと感じました。うらやましいほどきれいな床に子供達は各々勝手に仰けに、或は腹ばひにねて居ります。先生のピアノが鳴り出すと、床にねたまゝで曲に合せて體をもんぐりくくねらせます。やがて奏樂が木の葉のヒラヒラ散るのに變ると段々起ち上つて曲に連れて好さなように踊ります。いかにも愉快さうな様子で。その子供達の踊る姿の中には踊りとしてとり出しでも立派なものだと思はれるのがありました。その先生の仰る事に、「アメリカの子供は周圍の關係から大變神經質になつて居りますから神經系統の衛生について考へてゐるが、それにはリトミックが適してゐる」といつて居られました。リトミックについては何れ稿を改めて詳しく述べませう。

パリで、相當の家庭を知りたかつたのですが

機會を得ずして去つたのは残念でした。私のこの度の出張は英國が主で、上流家庭の教育、家庭の子供に關する設備を知りたいと思ひその方面に力をそゝぎました。有名な幼稚園、幼稚園の下の子スリスクールは大抵みました。ミス・マクミランの子スリスクールへも行きました。リットルプリンセス エリザベスの子スリの拜見も出來ました。

國民性には長所も短所もあり、何國の婦人が勝れてゐるかと申す事は困難ですが、私共が學ぶべき點を多く持つてゐるのは英國婦人だと思ひました。その英國婦人の子供の教育について申し上げますとあちらでは相當の家庭になればナースが居ります。もつと上になると更にガバナスをあきまします。子供の教育について殆んどガバナスが引き受けますがこれは上流家庭の事。普通一般家庭は日本と同じように母親が自分で育てます。ナース、

ガバナスは日本の女中や乳母と違つて教養があり非常に義務心が強く此點が英國のナースのすぐれてゐる所以です。引き受けると熱心と誠意で子供を育てます。一週に一度、ナースは休暇をとりませんが、泊りがけ、或は朝から出かけますその日の子供の世話は、一切、必ずお母さんで、決して女中に委す事は許さぬ權威がナースにあります。斯んな權威があるくらゐに信賴の出來る人で、お母さんは奥さんで、勉強なり、活動が出來ます。一方お母さんがその日稼ぎならナーススクールがあります。日本にも奥様方がそれ／＼の方面に活動出來るために、本當に安心して子供を委される信用の出來るナースの養成は大事な問題です。ナースの養成所も見てまゐりました。

ナースに權威のある一例を申し上げますと、日本の或方が頼んだナースの話ですが、お子様が四つの時、營養不良か貧血症かだん／＼體重は減り、

顔色が青くなつて來ましたのでいろ／＼相談し合ひますと、ナースは新しい牛肉の血をしぼつて飲ませるとよいと經驗と學識から申したのですが、御主人は牛肉の血をしぼつて、殺菌もしないそのまゝ飲ませるなんてそれこそ大變、いけないと反對しましたが、ナースは頑としてきゝ入れない。中に立つた奥様が困つて多年の經驗があるのだからとナースにゆづりました所、一ヶ月の後に急速な健康恢復をしました。その時にナースが言つたさうです。「あなた方は子供を育てた經驗がない、經驗なき者はある者に服従しなければならぬ」と。やはりそのお子さんが、ある晩、何うした調子か御両親に「お寝みなさい」を云はない、まだ起きていたかつたのでせう。序でに申しますが英國では六時には子供はベットにはいります。ナースが「セイ グッド ナイト。／＼」と云ふと、「ノ」といつてどうしてもおやすみなさいを申しま

せん。何回かくりかへし四十分間この様子が續きました。お父さんもお母さんもあぐんで新聞や雜誌を讀んで子供のグッドナイトをいふのをまつてゐました。「あゝ今夜はいゝよ」などと云はうものならナースに叱られますから。四十分かゝつてと／＼と子供が「おやすみなさい」と云ひました時のナースの喜びやうは大したもの「いゝ子だ、／＼」と讃めて、ベッドルームにつれてゆきました。その後一度もそういふ事がありませんでしたといふ事です。まづそんな風の教育の仕方です。母親の教育する時でも斯様に徹底して居ります。お子様のある家に泊つて一日を拜見しました。チエドナムカレッツのヘッドマスターのお家、高等學校長くらゐに當られますか、その日はガバナスの休みの日でしたのでお母さまが子供のお世話をなさるところを拜見しましたが、その注意はなか／＼周到なものです。三才と小學校二年位の二

人の男兒がおりますが、男の子の行儀のよい事に實に感服致しました。大きい方の子供と晝食が一緒にしたがりやんとマナーを心得てつゝまじやかに食事をします。あちらでは食卓のマナーはやかましくて無作法をすると信用をなくします。あ

ちらの作法の精神は人にいやな感じを與へぬやうといふ點にありますから小さい時からその躰が非常にきびしいのです。つまり社交の精神教育を小さい時からいたします。食事の時はズル／＼音をたてたりスプーンをすつたり食器の音をたてたりせぬやうに、口に入つたものを二度外に出さぬこと、水をのむにも一時にゴク／＼させないでコップに口唇のあとを大きくつけないこと等。また女中が給仕しても必ず「サンキュー」を云はせます。言はなければ教へます。一口にいへばボライトに自然の間に躰けます。そんな小さい子供でもレデーより先に食卓にはつきません。これが日本

では手に負へぬ年頃「これだから困ります」ですんで居ります。お客様の前で子供がお客様に出た菓子を取るのなど自然でよいなど考へてゐる人があります。これはどんなものかと思ひます。

子供は大變軽い食事、晝はパンと少量のミートポテト・ホーレン草のすつたもの小量、薄い紅茶。四時におやつ、これは牛乳一合、ビスケット、ブレッド アンド バタ。これが夕食兼になつてゐるやうです。この日お母さんはバブリックの用事はよして、子供の世話を凡べて自分でやります。食事も附いてゝ話ながらゆつくり食べさせます。四時のおやつ後三十分、お風呂に入れます。その家では合計五人の女中が居りますが女中には一指も子供に觸れさせません。風呂は大變湯が少くてぬるいもの、日本人の熱湯はいけないさうです。スキャツルのホテルでの話に、其處の湖水をずつと遠い向ふ岸まで、外國人は漕ぎぬくが日本人は

湖水の冷たさに堪へられない、心臓が弱いのではなく、皮膚の抵抗力が弱いためだといふ事です。

これは小さい時からの習慣によると思ひますから幼児には必ずぬる湯にしたいものです。あちらのバスには必ず寒暖計がついてゐまして、日本のやうに大人が手で加減するものではありません。病院のやつてゐる事を家庭でしてゐるわけです。

お風呂から上るとすぐにナイトガウンに代へ、ベッドに入れますが、その前に、お母さんの膝に子供の顔をうつ伏せさせて祈りを教へます。「神様お父さまお母さま、みんなをお守り下さい」と極く簡単に。ベッドに入れてふとんをちゃんと整へてやると「お寝みなさい」と言つてブラインドを下し、電燈を消してお母さんは室を出てしまひます。思ひ切つた事をする、日本のお母さんは思はれるところですね。と思ひますがこゝらの理性的な點を日本婦人に學んで貰ひたいと思ひます。

これからはお母さんの世界になります。日本ではお母さんのいそがしいお家では子供に對して權威のない女中まかせです。この意味だけでも幼稚園に入れる事は大切な事だと思ひます。

英國は子供を、お母さん・ナースその他年長者によく服従するやうに躰けてゐます。従順であるといふ事が凡ての徳性の根柢であつてまた將來、人と和して愉快に暮して行ける事になるのではないかと思ひます。日本のお母さん方が「今に大きくなつたら分るだらう」と、いふ事をきかぬのを見過されるのは考へねばならぬと思ひます。小さい時から他人の感情を尊重する、人に不快を與へるやうな事はいはぬ、せぬ。それが紳士、淑女だと教へる英國の教育は學ぶべきだと思ひます。

家庭へお客の仕方を申上げたい。英國ほどお客を歡んで手輕に迎へる國は他にないと思ひます。縁もない私のような外國人でも、日本の事を聞き

たいまた日本人に接して見たいといふ點もありませうけれど私の願ひを友達から聞いて喜んで家庭を開放して見せるのですから、さすがに世界的な國民だと思ひます。一面自信もあるからでせうが、一方、お客のもてなし方にそれをし易い理由もあると思ひます。

まへに申上げた家に客になつた時の事を申し上げますと、まづ何日何時に伺つて何日何時に歸るかをきめてまゐります。私の様に土地に不案内の者には約束の時間前に夫人自ら運轉して自動車で迎へてくれまして夫人自身定めた室に通します。第一にバスとトイレットを教へ、寒い時には煖爐の火など見まはり、食時迄休息するようにと自分の室に行つてしまひます。晝食は一時半から二時。この間は自由時間です。英國の作法ではお世話になると簡単な葉書でもすぐ御挨拶する事になつてゐますから、この間にそれ等の人々に手紙を書き、

着換へして待つて居りますと食事に案内されます。話ながらゆつくり食事して、四時のお茶の時まで又自由な時間になります。晝寝、手紙書き等してゐますと四時前に洗面の湯を女中が持つて來ます。食堂に出ますと十人ぐらゐのお客、一時間半ぐらゐの間、頗る簡単なブレッドアンドバター、ビスケット、家でつくつた西洋菓子、紅茶をいただきます。日本のようにしたまいたゞけないほどのご馳走を出すような不經濟をしません。要談のある者はこの間に済ませます。夜食は七時から八時。それ迄は又自由時間で、六時半に女中が湯を持つて來ます。夕食にはこれくらゐの家庭になりますと夫人はデコルターを着ます。旦那様はスモッキングタキシード位、日本でもせめて夕食には顔を洗つて一寸帶をしめなほす位したらずいぶん氣持がちがひ自然お行儀がよくなるでせう。食事とはごく簡單で、主なものは一皿で相當念のいつ

たものです。皿数は少ないものです。浪費は罪惡だと考へてゐますから自分の皿にとつたものをあまさないたゞします。食後は旦那様はお仕事が忙しければ書齋にいちつしやる、奥さんと二人で居間に入りまして話します。二人きりで話がとぎれますと雑誌を読むなり、手紙を書きます。あちらの作法として客人が先に席をたつ事は失禮ですから主婦は氣を利かせて十時ぐらゐに寝ませうと言つて席をたちます。客も挨拶して自分の部屋にひき下ります。

こんな工合でお客を招んで主婦がそのためにとれる時間は實に僅ですから客も氣がらくてありました。主婦も別に大した事はありません。これ等は室の餘裕、設備の關係もありますが日本の様にお客をするとか中のさわざになり主婦がそれにかかりきり主客ともにつかれる招客法は考へたいものと思ひます。翌日出立する時刻にはタキシードを

呼んでくれ玄關まで送つてくれ、さうならすれば主婦はその十分後にはその日の次のプログラムに移るといふわけです。

アメリカ人は、英國の婦人は時間々と時間に支配されてゐるといひますが我々日本人の様にだら／＼時間を送つてゐる者こそ仕事に追はれますが、ちやんと時間を配當してゐる英國婦人は悠々として能率をあげて居ります。

宇佐美氏は女子學習院幼稚園の主任。昨年四月、宮内省の命を受けて歐米の幼兒教育、殊に上流の家庭教育を視察せられて先月末歸朝せられました。まだ長途の旅勞れ、また整理最中の御多忙中にこの稿を口述いたゞいでございます。來月からは各國の幼兒の教育の現況を詳しく御執筆下さる筈、御期待下さい。

日記の 一 節

小山 登美子

めづらしいお天気、子供達と共に散歩にゆく。

あゝ暖い日の光り あゝ優しいそよ風

若草の萌え出でた 美しい野原

子供達は思ふ存分躍はねび跳る、少し遊び疲つかれると子供達は足もとの小さい花を見つけて摘み草をはじめました。

「先生、ここにもスミレがあるのよ」と信夫ちゃん。

「タンポポがあつた!」と義雄ちゃん。

皆一心にお花を摘む、そのうち信ちゃん、スミレを摘みながら詩のやうな言葉を口づさんだ。それをきいた私も思はず一緒にうたつてしまつた。

スミレ タンポポ タクサンアルヨ
スミレ ツモウカ ココニモヒトツ

こうして書いてしまつては、あまりに情緒が浮ばないけれど、あの時、あの野原でスミレを摘みながら思はず、あの子の口から漏れ出た時! 私は何とも云へない心持になつた。

× × ×

今日は雨降りだつたので、子供の姿を静に見る事が出来てうれしかつた。一番はじめに來たのが浩ちゃん。私と二人きり。そつと後から見えてゐると、一人で紙を卷いたり伸したり、ラツバのやうに吹いてみたり、覗いたり、たつた一枚の紙を色

々と變化させて愉快さうに一人で靜に私の傍にゐるのも忘れて遊んでゐる。決して一人で遊べなかつたこの子、人に頼らなければ遊びを見出す事の出来なかつたこの子、いつもくちよくくと、あちつきのないこの子に、こんな性質があつたのかと本當にうれしかつた。靜かな、しづかな環境は非常に必要だと思つた。深く考へさせられた日だ。

× × ×

朝早く近くの原に野の花を取りにゆく、まだあたりはほの暗く朝露はしつとりと、地上にうるほいを與へてゐる。甘草の花や名も知らない花が露をふくんで優しくつゝましく、ほゝゑんでゐる。この優しさ、この氣高さ、踏まれても踏まれても咲き出づる強さ！ あゝ私もこのやうでありたい！

(五〇頁よりつゞく)

その頃は若かつたしと私は言つたが、今でもまだ、自分の昔話をする程に老いてはゐない筈である。しかも、こんな話を長々と書いたのは、三十年記念號といふ目出度い本誌上に於て、本會と本誌との光榮ある舊名稱を今更に追憶し、その舊名に對しては敢て自ら忍ぶべからざるを忍んだ當時の私の心持を叙して、更めて舊名稱にゆるしを乞はんとするのである。



春咲き球根類

大 岩 金

栽培方面から考へます時は植込み時期に當つて居ります九月か十月かに申し上げました方がよろしいかとも思ひましたが、百聞は一見に如かずとも申しますから最も多くの種類の開花して居りますこの候に一通り申し上げまして來る秋の植込の際の御參考に供したいと存じます。

それで個々を鑑別致しますすにも細かに注意致しますれば諸種の點に於て異なる事でありますが、一見した丈でもわかり易い點は多くは花にある事と思ひますから大體この點に重きを置きまして申し上げます。

(イ) 水仙類

まづいち早く咲きますのは水仙類であります。中には一月の頃既に咲きまして只今ではもはや開花の時期は過ぎて居りますけれどもまだ御記憶に残つて居りませうが、かの多く水栽培に致しました支那水仙であります。是も露地ですと三月の中下旬の頃に開花致します。是は花瓣は白色でありますが副冠は黄色でありまして一莖に四五輪位つくのであります。葉よりもやゝ高く花軸がぬき出でて開花致しまして香はあまり強い方ではありません。球は大きいものになりますと直徑二寸にも及ぶものがあります。

ついで咲きますのが花瓣も副冠も眞白のペパーホ

ワイトであります。是も一莖に數輪つきますが前者に比してかなり香は強い方で一二本を机上におきましても相當に遠方までよくにほつてゆきます。

次に咲きますのがラッパ水仙であります。名の如く副冠が最もよく發達した種類であります。大きく丁度喇叭狀をして居るのであります。そして一莖一花で花と花とは略同高であります。而して花瓣は淡黄、副冠は濃黄のや花瓣と副冠と色を異にしてゐるのなどあります。又副冠の喇叭の大きさには大、中、小種々あります。

最もおくれて咲きますのは口紅水仙であります。是も前と同じく一莖一花ではあります。が花瓣も副冠も共に小さく白色であります。是が特徴と致します。所は名の示すやうに副冠の縁邊を赤く細く色どつて居る事であります。

尙以上の外黄水仙、八重咲水仙などもあります。

栽培法に就きましては他の球根類と大同小異であります。から後にまとめて申し上げます事に致します。

(ロ) ヒヤシンス

ヒヤシンスに就きましてはとりたてゝ申し上げます程の事ありません。皆様の御存じのやうなものであります。只その水栽培に致します時は球の大なるものを購入するといふ事が肝要であります。

(ハ) クロツカス

ヒヤシンスと前後して咲きますのがこのクロツカスであります。和名で色サフランと申し一個の球根から十數枚の線狀の葉を出します。然しその葉は始めは一二寸の短いもので花の終りました後は三寸程に伸びるのであります。花は漏斗狀をして上向に咲き一花が終れば又新しい蕾が出て來るのであります。色には白、黄、紫、紅、絞りな

どありまして花軸を土中にかくして花のみ地上にあざやかな色をみせて居ります。眺は誠に可愛らしいものであります。かく觀賞用の花サフランは春咲きであります。が藥用に供しますサフランは秋咲きであります。その長い花絲を藥用にするとか申して居ります。

(二) チューリップ

アイリーチチューリップは早生種で丈は低く最も早く三月下旬頃に開花し花梗にも莖にも葉にも軟かい短い毛が生えて居り、花は芳香をもつて居ります。色には紅、黄、紫などがあり、又一重のものも八重のものありまして多く鉢作りとして花屋に出して居りますのを見受けます。

是についで咲きますのがダーウインチューリップであります。晩生種で花梗は六七寸から長いものになります。二尺にも達するのがあります。葉は數枚で花は香をもつて居りませんが大きく多く

は一重の倒卵形をした丸味をもつた花であります。又中には八重もあり色には前同様種々あります。しかし葉や莖は滑かであります。

このやうに花軸の長いために多くは切花用として栽培されて居ります。

ダーウインチューリップの變種にパロットチエーリップと申しまして花瓣の縁が深くさけたものもあります。

(ホ) トリテリヤ

三月下旬から四月上旬にかけて開花致します。

葉は四五寸の細長いものでありまして地に接して亂れて擴がつて居りますのであまり感心したものでもありませんが、四五寸程の細長い花軸を抜き出して先端に可愛らしい白地に藤色のすぢを中央に染め出して本は筒になり先になつて花と萼とが互ひちがひに三瓣づつ内外並び中に又黄の葯のわづかに見えて居ります所など誠によい配合であ

ります。

(へ) オーニソガラム

葉の形といひ花の形と申しよく似て居りますが、いづれも前者に比して細小であり花期も四月下旬から五月上旬になつて居ります。又トリテリヤの一軸一花に對して是は一花軸に數輪群生するのであります。花色は純白でありまして是が一齊に咲き揃ひました時は葉はその下にかくれて滿面白花で覆はれる事になります。

この外にもムスカリ、シラーなども露地で栽培出來ますものであります。

オキザリス、フリージャ、シクラメン、アネモネ、ランキユラスなどの春咲球根もあります。是等は皆フレイム又は溫室内でなければ越冬し得られないのでありますから今回は略しておきます。

栽培法

夫々の球根に依りまして栽培法に多少の相違はありますけれども大同小異でありますから一般にわたつての栽培方法を申し上げます。

さてその栽培法を大別致しまして左の三通と致します。

(イ) 露地栽培

(ロ) 鉢栽培

(ハ) 水栽培

(イ) 露地栽培はいづれの球根類でも出來ますし、又多少球は小さくともかなりの成績をあげる事が出來るのであります。即ち栽培面積が廣いため施肥によりまして充分に養分を吸収する事が出來るのであります。

植込み、九月中下旬から十月一ぱいに植込みます。土質に對する好惡はほとんどなくいづれの土地にも成育致しますけれども最も理想としては排水のよい砂質壤土がよいのであります。そして植

込の際植穴の下部に堆肥、藁灰の類を入れておきますならば更によいのであります。植込の深さ及び距離は夫々球の大きさによりまして異なつて居りますから大體の標準を後に表示致しませう。

植込み後の手入

今回申し上げましたものは皆耐冬性でありますから冬でも別に除霜の設備はいらないのであります。翌春になつて早いものから順次芽を出して參りますからその時芽出し肥として油粕の腐汁のうすいものをかけてやります。尙引續き成長するにつけ開花迄に數回前同様の液肥をかけてやるのであります。

(ロ) 鉢 栽 培

鉢栽培に致します時は土の量に制限のあります事故従つて肥料分も缺乏し易いゝそれがありますから植込みます球もなるべく大きな上等のものを選ぶ必要があります。又時に施肥致します事も露

地作りよりも一層肝要であります。只鉢作りに致しまして便利な點は開花致しました時隨時好みの場所に移されます事と、花後球を掘り取ります迄に露地ですと長くそのまま土地を休ませておかなければならない缺點を補ふ事が出来るのであります。ともすると球根の移植をする方もありますが是は絶対に禁物でありまして一度移植しました時は到底その年の觀賞には役立てられないのであります。かゝる點に於て時には露地作りに時には鉢作りを必要とする場合がありますので球根はいづれの種類でも出來ます。

次に用ひます土も露地と大差はありませんけれども小さい鉢に堆肥を入れる事は困難でありますからこの時には油粕の腐つたものに藁灰を交ぜるか乾燥肥料の如きを土に交ぜますとよろしいのであります。又鉢に球根を植込みましたならばなるべく冷たい場所におきまして充分に根の出した

後芽の發生するやうにしたいのであります。かく致します時は花も早く立派なものが咲きます。

(ハ) 水 栽 培

最も普通に栽培されて居りますのは水仙とヒヤシンスであります。水仙の中では特に支那水仙が用ひられて居りますがこの水栽培に就きましては既に申し上げて居りますから省略致します。

ヒヤシンスはヒヤシンス鱧と申しまして特に是が栽培に適した鱧を販賣して居りますが是に準じた物ですと何でも代用して差支へありません。只要は白い美しい根が外から見えるやうに無地の透明である事は望ましいのであります。

栽培にかかる時期は九月中下旬に致しまして露地作りよりも幾分早めに致しましてあまりおくれなす時は發育がよくないやうであります。球を鱧に入れました時は丁度球の底部とすれ／＼になる程度に水を入れまして是を戸棚の中のやうな暗所

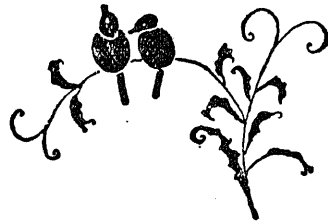
におくのであります。そして一週一度位水をとるかへてやります。このやうに致します時は根のみ先に出て二三週間も致します時は根は充分に伸びてほとんど鱧の底に達する位になりますからこの頃からそろ／＼日當りに出して後には充分日光に當ててやります。かく致しまして根の充分はつた後芽が出ますと丈夫でしまりあるものとなり蓄も大きなのが出ます。鱧に入れて室内で栽培致しましたものは三月中下旬頃に開花致します。

花後の手入

一般に球根類は分球によつて繁殖するのでありますから花が終りましたならば結實させないやうに早く摘除するのであります。それから次第に灌水をひかえめに致しまして漸次葉の黄ばむのを待ちほとんど枯れる迄になりましたならば球を掘り上げて日蔭干とし來る秋まで保存しておきます。水栽培に致しましたものは球が非常にやせて居り

ますから到底來年の水栽培には役立てられませんが露地で數年休ませておきますれば又開花させる事も出來ると申しますがなか／＼恢復はおぼつかないやうであります。

花名	露地		鉢	球、個數
	深サ	距離	大サ(口徑)	
ペパーホワイト	球ノ二倍	四、五寸	五寸	三—五
ラッパ水仙	同前	同前	同前	三
口紅水球	同前	三、四寸	同前	五
クロツカス	同前	三、四寸	同前	五—七
ヒヤシンス	同前	四、五寸	同前	一—三
チューリップ	同前	四、五寸	同前	三
トリテリヤ	同前	三寸	同前	五—七
オニソカラム	同前	三、四寸	同前	五—七
シラ	同前	四、五寸	同前	三



雜 錄

關西聯合保育會代表制

度改正建議のため上京

去る十月十七日の第三十六回關西聯合保育會で決議した左記建議案を携へて、同會代表望月くに、山崎とき、折井彌留枝氏、大道てる、其の他二人は三月二十五日朝上京。その朝東京側の小川圓次郎、土川五郎、千葉ひで氏等、仙臺より參加の橋本よしゑ氏と神田一橋、教育會館に顔を合せ、帝國教育會理事野口援太郎氏、山柵代議士と共に一同打揃つて文部省に出頭、普通學務局長に會つて三ヶ條の建議の主旨を述べた。二十八日には普通學務課長小笠原氏、同課主席船越屬官に同様の

陳情。この晩望月、山崎兩氏は文相夫人を訪ねて盡力を願つた。翌二十九日、この日は田中三郎氏も共に漸く文相官邸に文相と面會陳情。何れも、よく調査の上希望に添はんとの答へを得た、がこの夕は文部省關係の人々を晚餐會に招待して同問題につき懇談を開いた。斯く一同は連日奮闘せられた。

本會からは、行啓と卒業式の用務のため遺憾ながら誰れも參加出席出來なかつたが、制度の改正には異常なる熱心と多數の意のある所が示されねばならない。近く大會を開き、氣勢をあげることに計畫がすゝめられてゐるが、一日も早く本案の通過を祈るものである。

建議案

事 項

一、幼稚園令施行規則第十六條但書ヲ左ノ通り改

メラレ度キ事「但月俸額ニ付テハ園長及保姆ハ本科正教員ニ準ズ

現行法規ハ保姆ノ月俸額ヲ専科正教員ニ準ズトナセルヲ以テ本科正教員ヨリモ低級ナルモノナリトノ誤解ヲ招ク嫌アリ。幼稚園令施行規則ノ定ムル所、保姆ノ資格内容タルヤ少クモ尋常本科正教員ト同等以上ナルニ對シ特ニ保姆ノ月俸額ヲ専科正教員ト同額ナラシムルコトハ甚シク均衡ヲ缺ケルノミナラズ、大都市幼稚園保姆資格ノ實狀タルヤ文部省教員免許狀所有者並ニ小學校本科教員有資格者ノ漸次増加シツ、アル現狀ニ鑑ミ速ニ保姆ノ待遇ヲ改ムルノ必要アリト認ムル所以ナリ。

一、市町村立幼稚園保姆及ビ園長年功加俸制ヲ新ニ設ケラレタキ事

現今小學校教員ハ勿論公立學校職員ニ對シテハ年功加俸ノ制アルニ拘ラズ、獨リ市町村立

幼稚園職員ニ對シテ此ノ制ナク小學校教員並ニ師範學校附屬幼稚園保姆ニ比シ著シク恩典ヲ均シクセザル怨アルノミナラズ他ノ教職員等ヨリ市町村立幼稚園保姆トシテ轉勤セントスルモノヲ阻止シ人材ヲ得ルノ途ヲ妨グル等幼稚園教育發達上支障大ナルモノアリ。之レ本制ノ速ニ設ケラレンコトヲ希望スル所以ナリ。

三、恩給法第九十九條第二項ヲ削除セラレ度キ事

恩給法ハ准職教員ノ勤續年數ヲモ一定ノ條件ノ下ニ恩給年限ニ加算スルヲ本則トス（第四十二條第四項）然レドモ第九十九條第二項ニ於テ「當分ノ内之ヲ認メズ」トノ規定アルヲ以テ幼稚園令施行前ノ保姆（准教職員）ハ其後教職員ノ資格ヲ得勤續スルモ從前ノ勤續年數ハ全然通算セラレザルノ結果トナリ甚シク不合理ノ嫌アルノミナラズ延イテハ幼稚園教

育發展上遺憾尠カラザルヲ以テ速ニ恩給法第九十九條第二項ノ削除サレンコトヲ望ム之レ
本事項ヲ建議スル所以ナリ。

第四回乳幼児愛護デー

昭和元年十二月東京市開催の第一回全國兒童保護事業會議で決議されて、乳幼児愛護デーが翌年五月五日端午の節句に、全國一齊に實施せられて以來今年是第四回にあたる。我國の乳幼児死亡率は世界一、下層階級にては乳幼児の保育が甚だ困却されてゐるといふので、妊産婦乳幼児の保護に就ての一般知識の向上とそれ等の社會施設の紹介、普及發達を計らうといふのである。東京府の社會事業課でも各方面の人々を集めて準備委員會を開いて左記計畫案が着々すゝめられてゐる。

- 一、高等女學校及び之に類する各種學校に於ては女生徒卒業生並に其保護者に對し五月五日に乳幼児保護に關する講演會を開くこと
- 二、社會事業團體小學校幼稚園寺院教會等に於て一般に對して乳幼児保護思想普及の講演會を開催すること
- 三、乳幼児愛護の標語入カード並にポスター等を揭示又は配付すること
- 四、電車内に標語入ポスターを揭示すること
- 五、新聞紙及雜誌に乳幼児愛護デーの趣旨を發表すること
- 六、ラヂオにて當日講演、談話、音樂及「ニュース」を以て趣旨を放送すること
- 七、乳幼児審査會並に健康相談會等を開催すること
- 八、記念シール、パンフレット、繪ハガキ等を作製使用すること

九、乳幼児嗜好品、玩具及繪本、兒童衛生等の展覽會を開催すること

十、妊産婦及乳幼児、並兒童保護の施設の紹介をすること

十一、デパートメントストアに於て愛護デーの趣旨を普及することを依頼すること

十二、乳幼児愛護デー今回の標語は左の記の如く定めること

イ、丈夫に育つも赤兒から

ロ、強く正しく愛らしく

ハ、不斷の注意で子は育つ

ニ、愛ではぐくみ智で磨け

十三、乳幼児愛護デー講演會等に於ける育兒衛生及童話等の講師必要の際は麴町區丸ノ内三丁目東京府社會課（電話丸ノ内一八一番社會課兒童係）に申し込あれば出來得る限り幹旋をなすこと。

すでにポスター、カード、パンフレット等幾萬部提供、無料講演、活動映寫などの申込みあり、なほ當日は飛行機を市の上空に飛ばせる計畫もある。



定規文注

告

票

- 一、幼稚園及び小學校、家庭、育兒、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歡迎いたします。
 - 一、寄稿は一行二十四字詰に記して下さい。但改行は一字下げること、また句讀點は一字あけること。
 - 一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新刊書、交換雜誌、入會手續、更に本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。
- 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
日本幼稚園協會**
- 一、本誌御注文の方は凡て前金（郵税共）で願ひます。（郵便代用の場合には總て一割増）
 - 一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
 - 一、送金の節には第何卷第何月號より第何月號迄と明記せられたし。
 - 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
 - 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に『前金切』の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
 - 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

告 廣

神田區南甲賀町八品田奥松に御申込下さい。

特等面一頁 金參拾圓
一等面一頁 金貳拾五圓
二等面一頁 金貳拾圓
一頁以下御斷

發 行 所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
日本幼稚園協會
振替口座東京一七二六六番

不 許 複 製
禁 轉 載

編輯兼發行所 堀 七 藏
東京府豐多摩郡戸塚町大字戸塚五七五
印刷者 須 藤 紋 一
東京市麹町區飯田町二丁目五十番地
印刷所 京華社印刷所

價 定

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料壹錢
半ヶ年分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

（外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい）

昭和五年四月十二日印刷納本
昭和五年四月十五日發行
幼兒的教育 第三十卷第四號

女子學習院 教授 岡野 榮・丹羽禮介先生共著

永成 學校

美術圖畫基本描き方

菊彩作定送
判色畫價料
洋三二金
綴十圓四
百二十有八
頁葉餘錢七

寫生、略畫、水彩、レヨン畫、彩色圖案等學校美術教育の大展覽

唯單に寫生のみを圖畫教育の目標とするのは大なる錯誤です。更に觀察力、考察力鑑賞力、着想の妙、色調の美、表現の技法、應用の力、之等を啓發培養してこそ其本來の目的を達すると共に他面又圖畫科が他學科とよく關聯して直觀教授や實物教授の能力を發揮し得る譯です。本書集は之等の目的に於て小學各年の各學科修身の國語、歴史、理科、地理等の國定教科書の綜てに於て小學各年の各學科の圖案畫、毛筆ペン、鉛筆の三種に依つて描く所無慮千數百、而してクレオン畫、着色としてその描方と各科に對する應用の方法を述べてありますから本書が圖畫科教典全集としての全能は勿論小學各學年の全科に亘り實物教材として其應用は實に自由自在です。初等教育家及び一般家庭の御心備御推薦を乞ふ。

帝國美術學院 東京美術學校 教授 岡田三郎 禮介 共著

新刊	三版	六版	五版
學校圖畫描き方基本と其の描き方	學校應用略畫集と其の描き方	學校應用略畫集と其の描き方	學校應用圖案畫集と其の描き方
菊彩全一冊洋綴 定價三圓四角八錢 送料十八錢	菊彩全一冊洋綴 定價三圓四角八錢 送料十八錢	菊彩全一冊洋綴 定價三圓四角八錢 送料十八錢	菊彩全一冊洋綴 定價三圓四角八錢 送料十八錢
實物寫真と寫生圖と略畫の三様の比較を如實に示す等、用意周到、指導書であり、三、四角型の之等の配列に依り如何に簡便に描かるゝかを兒童に會せしめるに努む一本の線より順序を経て畫に成る迄即ち素描と彩色の過程を懇切丁寧に實例に於て説明し、本畫は其應用の範圍頗る廣汎に於て圖畫教育にありまます學校教育家庭に於ての必備を乞ふ。勿論ホスター、表紙、裝幀、染物等克く圖案の作意を會得し、且つ製作家たるを得。			

女子高等師範學校 教授 横井曾一 著
中心學習手工學習指導
定價一圓八十錢
送料十八錢
詰込三卷に依る機械的、他律的模倣製作の現狀から脱して、自律的、科學的製作を爲さしむるを得。

發行所 東京市牛込區中區文庫館書店 電話 三三八三 三三二四 三三二五 番

大判洋裝全一冊
揀圖二百二十頁
定價金三圓五拾錢
送料金拾八錢

性行検査法の試み	久保良英	文部省博士、文部省 イタクトル・オブ・フィロソフイ
作業に現はれたる注意の形に就て	桐原葆見	文部省博士、文部省 イタクトル・オブ・フィロソフイ
個性調査の情意的一面	迫田マツ	文部省博士、文部省 イタクトル・オブ・フィロソフイ
兒童の身體的及精神的に發育 に及ぼす季節的影響の研究	内田勇三郎	文部省博士、文部省 イタクトル・オブ・フィロソフイ
精神發達に應ずる轉導及應時間の變化	久保良英	文部省博士、文部省 イタクトル・オブ・フィロソフイ
尋常小學校に於ける算術應 用問題の分類	小林一滋	文部省博士、文部省 イタクトル・オブ・フィロソフイ
一般智能検査の再検査成績	増田幸一	文部省博士、文部省 イタクトル・オブ・フィロソフイ
入學當初智能検査に關する研究的考察一二	久保良英	文部省博士、文部省 イタクトル・オブ・フィロソフイ
青年期に於ける自己意識に就て		
海外新著論文抄録		

[illegible]

智能の査定が手軽に出来る。児童研究所
紀要の實際的研究唯一の用具。

本用紙は久保先生の考案になる兒童智能
検査用紙圖體的用

發行所 東京牛込區
中文館書店
振電 電話 三三八二
東牛込區
番七五二四八三

定價三十五錢

クツブーダンキ

(錢 五 拾 參 價 定)

◎書店にて販賣せず

賜
台
覽

顧
問

文部大臣推辭

從來の繪本が多く想像の方面を主としたるに反しキンダーブックは事實の方面に立脚して觀察の資に供せんとするは確かに一新生面を開拓せるものにして汎く兒童教育界を裨益すること尠からずと信ず

文部大臣
勝田主計

◎幼稚園の御後援あるのみ

綢緞顧問	倉橋惣三	繪畫顧問	清水良雄	童話顧問	西條八十	童話顧問	巖谷小波	作曲顧問	小松耕輔
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

附屬幼稚園主事	學良女子高等師範教授	東北帝國大學教授	東京帝國大學教授	東京高等師範學校士	帝國教育會事務理事	廣島高等師範學校教授文學博士	早蕨幼稚園校長	日本女子大學教授	同附屬小學校主事	瑞穂幼稚園院長	附屬小學校主事	東京高等師範學校主事	帝國教育會議員	日本玩具研究會顧問
堀七藏	吉田熊次	野口援太郎	久保良英	久留島武彦	河野清丸	土川五郎	佐々木秀一	篠原助市	森川正雄	林博太郎	(いろは順)	贊助員		

館ルベールフ社會式株 田神京東